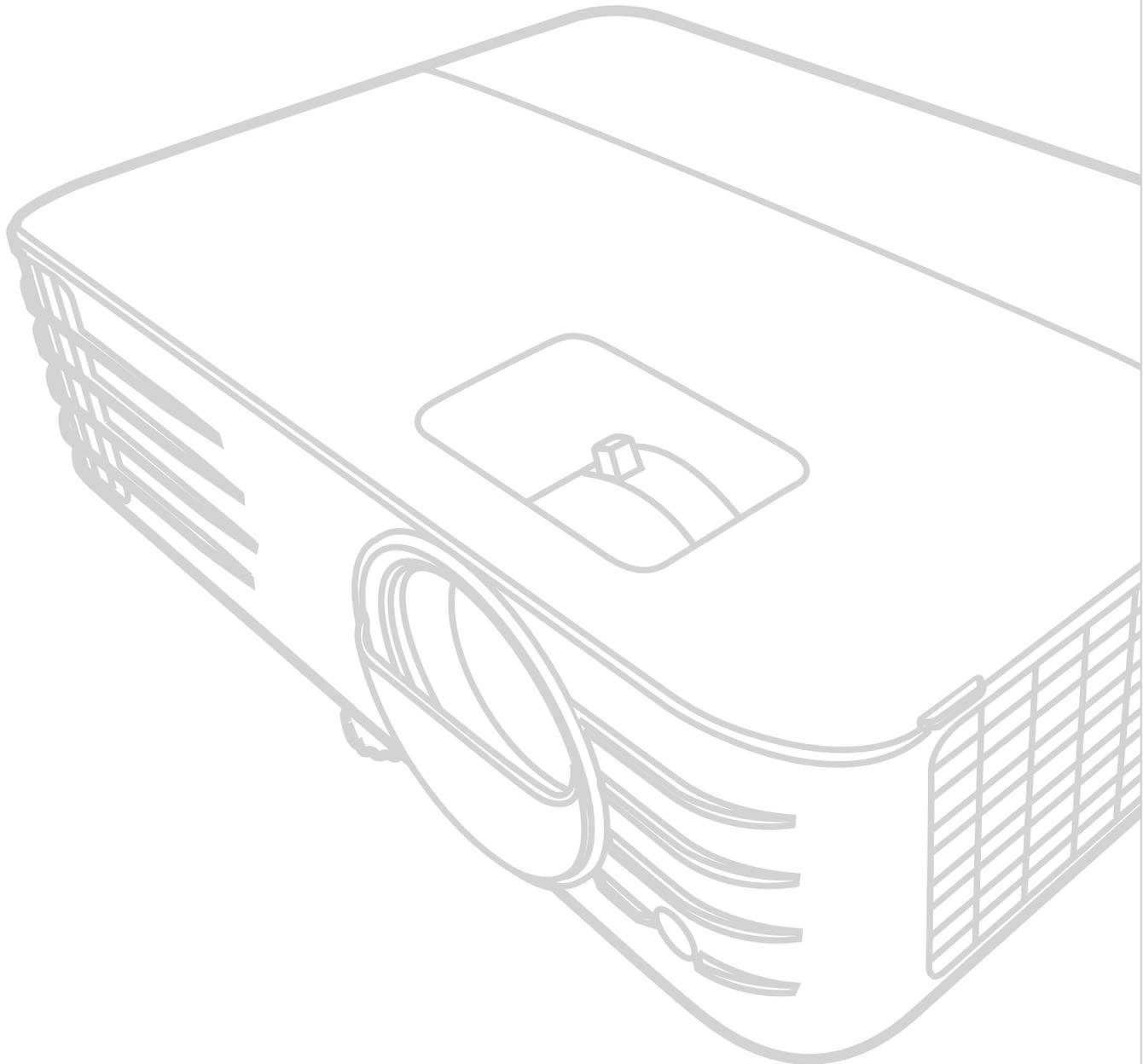


# > PX701-4K/PX728-4K/PX748-4K

プロジェクター  
ユーザーガイド



モデル番号：VS18244/VS18338/VS18339  
型番：PX701-4K/PX728-4K/PX748-4K

**ViewSonic® をお選びいただき、  
ありがとうございます。**

# > 目次

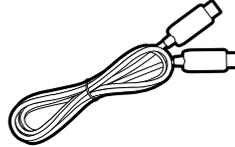
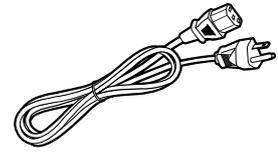
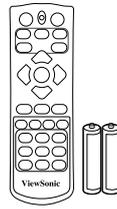
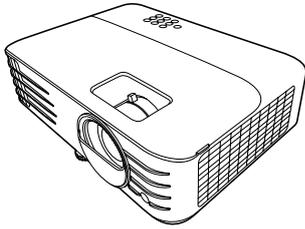
<b>はじめに</b> .....	<b>6</b>
梱包内容.....	6
概要.....	7
プロジェクター.....	7
制御装置および機能.....	7
接続ポート.....	8
リモコン.....	9
制御装置および機能.....	9
リモコンの有効範囲.....	11
リモコンの電池の交換.....	11
<b>初期設定</b> .....	<b>12</b>
設置場所の選択.....	12
投写サイズ.....	13
PX701-4K.....	14
16:9 スクリーンの 16:9 画像.....	14
4:3 スクリーンの 16:9 画像.....	14
PX728-4K/PX748-4K.....	15
16:9 スクリーンの 16:9 画像.....	15
4:3 スクリーンの 16:9 画像.....	15
プロジェクターの天井取り付け.....	16
不正使用の防止.....	17
セキュリティスロットの使い方.....	17
パスワード機能の使用.....	18
パスワードの設定.....	18
パスワードの変更.....	19
パスワード機能を無効にする.....	19
パスワードを忘れた場合.....	20
パスワード呼び出し手順.....	20
コントロールボタンをロックする.....	21

<b>接続</b> .....	<b>22</b>
電源の接続.....	22
外付け機器への接続.....	23
HDMI 接続.....	23
オーディオ接続.....	23
<b>プロジェクターの使用方法</b> .....	<b>25</b>
プロジェクターの電源をオン/オフにする.....	25
プロジェクターの起動.....	25
初めて起動する場合.....	25
プロジェクターをオフにする.....	26
入力ソースの選択.....	27
投写画像の調整.....	28
高さや投写角度の調整.....	28
画像の自動調整.....	28
画像サイズとフォーカスの微調整.....	28
台形補正.....	29
4 隅の調整.....	30
画像を隠す.....	30
LAN 環境によるプロジェクターの制御.....	31
LAN 制御設定の設定.....	31
<b>メニューの操作</b> .....	<b>33</b>
一般的な OSD メニューの操作.....	33
オンスクリーン ディスプレイ (OSD) メニュー構造.....	34
表示メニュー.....	40
画像メニュー.....	43
電源管理メニュー.....	47
基本メニュー.....	49
詳細メニュー.....	52
システムメニュー.....	57
情報メニュー.....	60

<b>付録</b> .....	<b>61</b>
仕様.....	61
本機サイズ.....	62
タイミングチャート .....	62
HDMI (PC).....	62
HDMI (ビデオ) .....	64
トラブルシューティング .....	65
一般的な問題.....	65
LED インジケーター .....	66
メンテナンス .....	67
全般的な注意.....	67
レンズのお手入れ.....	67
ケースのお手入れ.....	67
プロジェクターの保管.....	67
おことわり.....	67
光源について .....	68
光源時間.....	68
光源の寿命を延長するには.....	68
光源交換タイミング .....	69
光源の交換.....	69

# > はじめに

## 梱包内容



(PX728-4K/PX748-4K 向け)

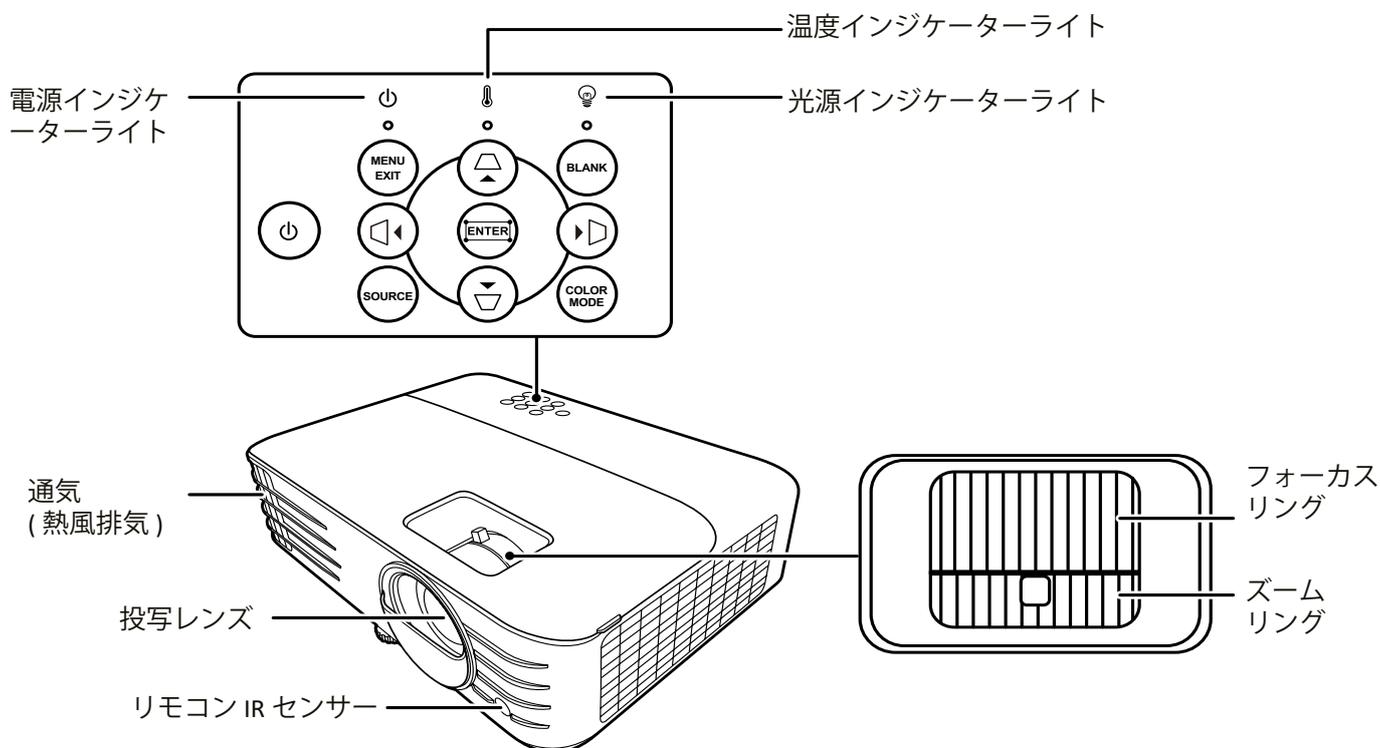
保証書

**注意事項：** 同梱されている電源コードおよびビデオケーブルは、国により形状が異なる場合があります。詳細は、販売店へお問合せください。

# 概要

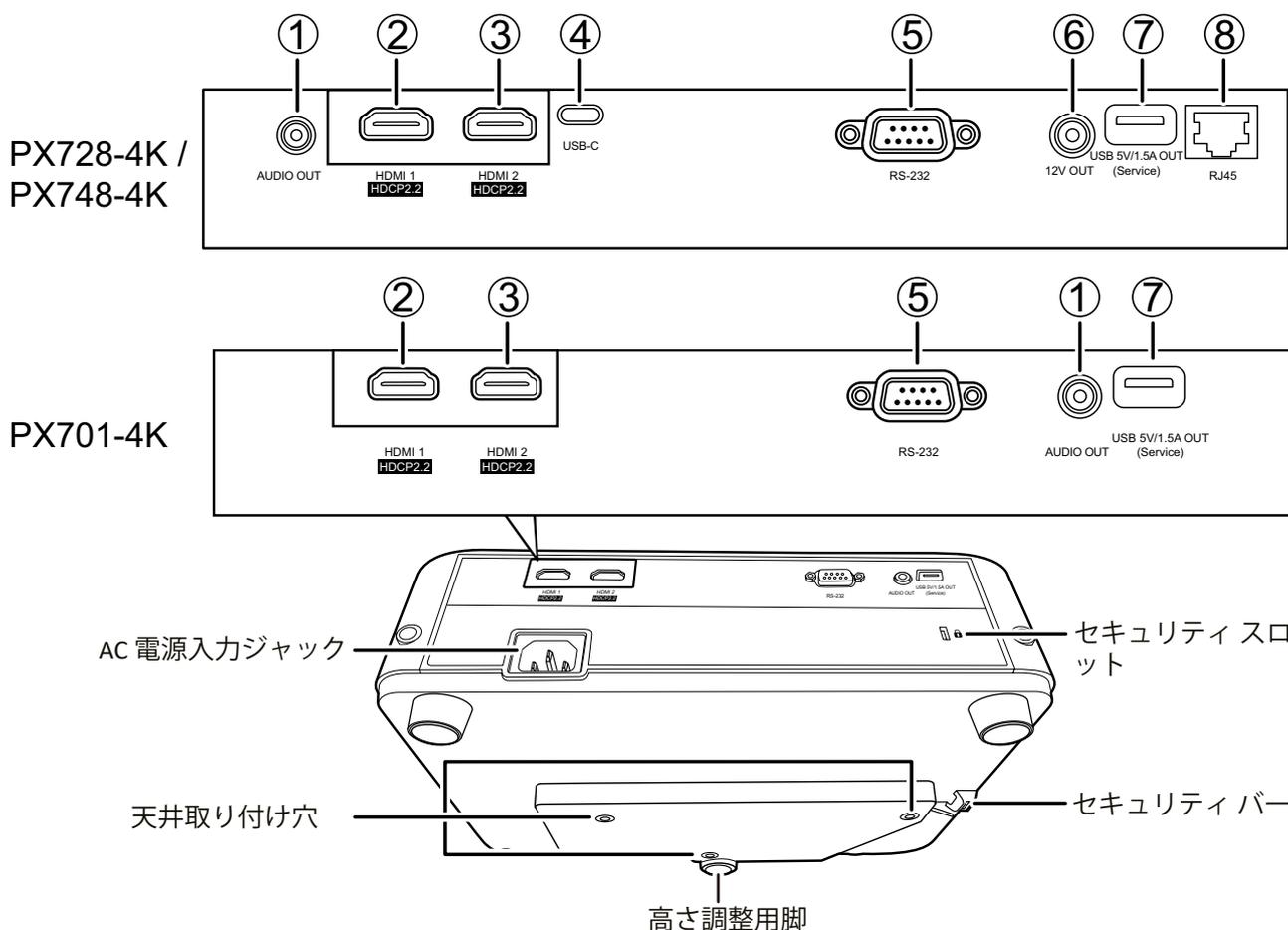
## プロジェクター

### 制御装置および機能



ボタン	説明
[] 電源	スタンバイモードと電源オンの状態を切り替えます。
[///] 台形補正ボタン	投写角度によって生じる画像の歪みを手動で修正します。
[///] 左/右/上/下	オンスクリーンディスプレイ (OSD) メニューが有効なとき、メニューアイテムを選択し、調整を行うことができます。
Menu / Exit	オンスクリーン ディスプレイ (OSD) メニューをオン/オフにします。
Source	入力ソース選択バーを表示します。
Blank	スクリーンの画像を非表示にします。
Enter	OSD メニューが有効なとき、選択した OSD メニューアイテムを有効にします。
[] コーナー調整	コーナー調整メニューを表示します。
Color Mode	カラーモード選択メニューを表示します。

## 接続ポート

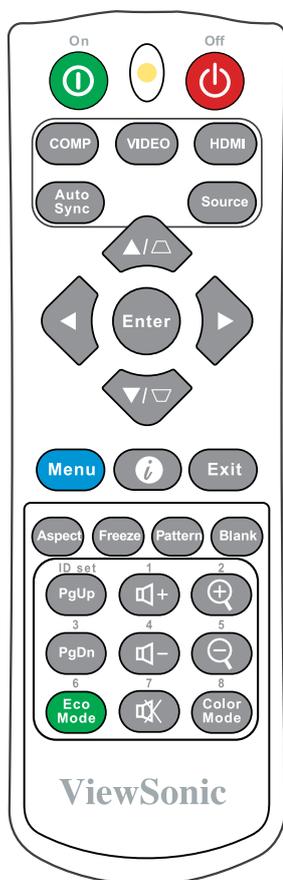


ポート	説明
[1] AUDIO OUT	音声信号出力ステレオミニジャック。
[2] HDMI 1	HDMI 2.0 ポート。
[3] HDMI 2	HDMI 2.0 ポート。
[4] USB Type-C	USB Type-C ポート。
[5] RS-232	RS-232 制御ポート。
[6] 12V OUT	12V DC 出力端子。
[7] USB 5V/1.5A OUT (Service)	電源出力用 USB Type-A ポート。
[8] RJ-45	LAN ポート。

# リモコン

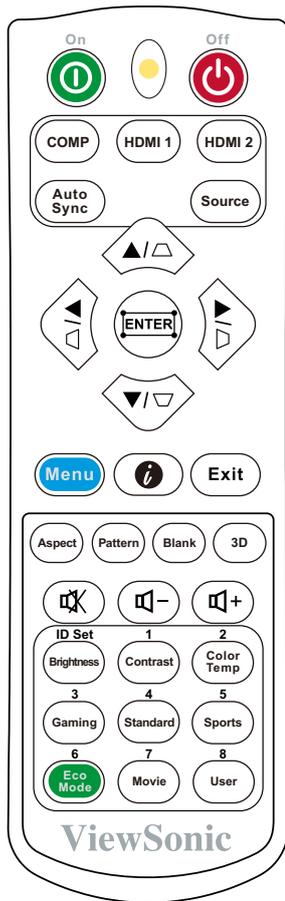
## 制御装置および機能

PX701-4K



ボタン	説明
① On/⏻ Off	スタンバイモードと電源オンの状態を切り替えます。
COMP	使用不可。
VIDEO	使用不可。
HDMI	表示するソースを <b>HDMI 1</b> または <b>HDMI 2</b> ポートから選択します。再度このボタンを押すと、順に2つのポートが切り替わります。
Auto Sync	表示画像に最適なタイミングを自動的に設定します。
Source	入力ソース選択バーを表示します。
[◀/▶]	投写角度によって生じる画像の歪みを手動で修正します。
Enter	選択した OSD メニューアイテムを有効にします。

ボタン	説明
◀左/▶右 ▲上/▼下	メニュー アイテムを選択し、調整を行います。
Menu	OSD メニューをオン/オフにします。または、前の OSD メニューに戻ります。
ℹ情報	インフォメーションメニューを表示します。
Exit	メニュー設定を保存して終了します。
Aspect	アスペクト比選択メニューを表示します。
Freeze	投写画像を静止します。
Pattern	埋め込みテストパターンを表示します。
Blank	投影画像を非表示にします。
PgUp ページを上へ PgDn ページを下へ	ページを上げる/下げるコマンド (Microsoft PowerPoint など) に応答するディスプレイソフトウェアプログラムページを上へ/下へコマンド (Microsoft PowerPoint など) <b>注:</b> PC 入力信号が選択された場合にのみ使用できます。
Eco Mode	エコモードを選択します。
🔊+	音量を上げます。
🔊-	音量を下げてます。
🔇ミュート	本機の音声のオン/オフを切り替えます。
⊕	投写画像のサイズを拡大します。
⊖	投写画像のサイズを縮小します。
Color Mode	カラーモード選択バーを表示します。



ボタン	説明
① On/Off	スタンバイモードと電源オンの状態を切り替えます。
COMP	使用不可。
HDMI 1	表示するソースを <b>HDMI 1</b> ポートから選択します。
HDMI 2	表示するソースを <b>HDMI 2</b> ポートから選択します。
Auto Sync	表示画像に最適なタイミングを自動的に決定します。
Source	ソース選択バーを表示します。
[▽/□/◇/◇] 台形補正ボタン	投写角度によって生じる画像の歪みを手動で修正します。
Enter	選択した OSD メニューアイテムを有効にします。
四隅の調整	四隅の調整メニューを表示します。

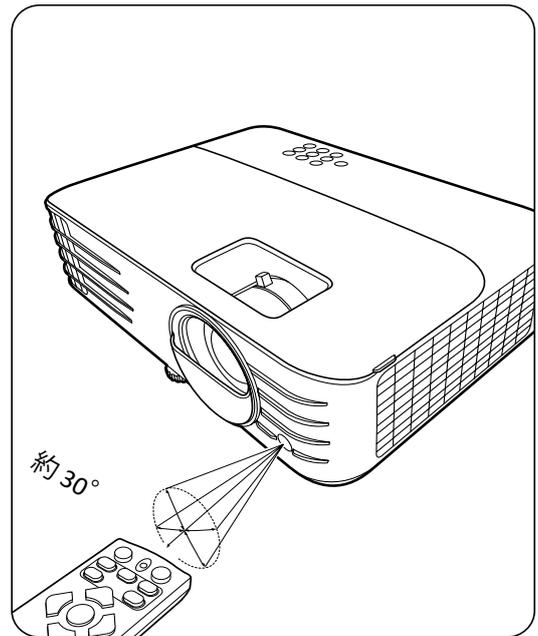
ボタン	説明
◀左/▶右 ▲上/▼下	メニューアイテムを選択し、調整を行います。
Menu	OSD メニューをオン/オフにします。または、前の OSD メニューに戻ります。
ℹ情報	インフォメーションメニューを表示します。
Exit	メニュー設定を保存して終了します。
Aspect	アスペクト比選択メニューを表示します。
Pattern	埋め込みテストパターンを表示します。
Blank	投影画像を非表示にします。
3D	3D メニューを表示します。
🔊+	音量を上げます。
音量を上げる	
🔊-	音量を下げます。
音量を下げる	
🔊 ミュート	本機の音声のオン/オフを切り替えます。
Brightness	輝度調整バーを表示します。
Contrast	コントラスト調整バーを表示します。
Color Temp	色温度選択メニューを表示します。
Gaming	ゲームモードを選択します。
Standard	標準モードを選択します。
Sports	スポーツモードを選択します。
Eco Mode	エコモードを選択します。
Movie	映画(Rec. 709)モードを選択します。
User	ユーザー設定 1 またはユーザー設定 2 モードを選択します。

## リモコンの有効範囲

リモコンを確実に操作するためには、次の手順に従ってください。

1. リモコンは本機のリモコン IR センサーに対して 30° 以内の角度に保持してください。
2. リモコンとセンサーの距離は、8メートルを超えないようにしてください。
3. 赤外線は投射しているスクリーンや壁に反射してプロジェクターに届きますので、本体または投射スクリーンの方向に向かってリモコンを操作してください。

**注意事項：** 赤外線 (IR) リモコン センターの位置については、図をご覧ください。

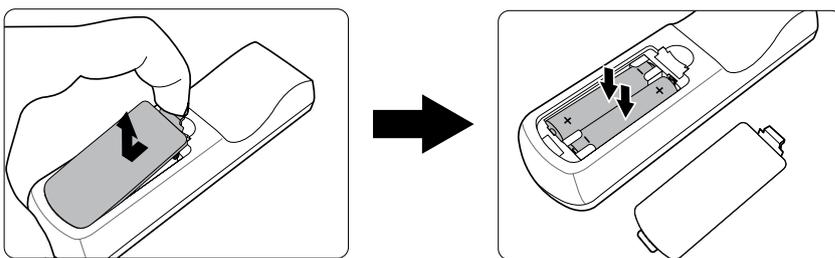


## リモコンの電池の交換

1. リモコンの下側にあるのグリップを押しながらスライドさせて、電池カバーを取り外します。
2. 挿入されている電池を取り外し、単四電池を2本取り付けます。

**注意事項：** 表示されているように電池の極性を確認してください

3. 電池カバーをベースに合わせて押し込み、元の位置に戻します。カチッという音がしたらカバーが閉まったことを意味しています。



### 注意事項：

- リモコンと電池を暑い場所や湿気の多い場所に放置しないでください。単4形以外の電池は使用しないでください。
- 単四電池以外の電池は使用しないでください。
- 使用済みの電池は各自治体の回収規則にしたがって廃棄してください。
- 電池が完全に消耗した場合、またはリモコンを長期間使用しないときには、漏電によりリモコンのコントロール部分が破損しないように電池は外しておいてください。

# > 初期設定

本章では、本機の設定について説明します。

## 設置場所の選択

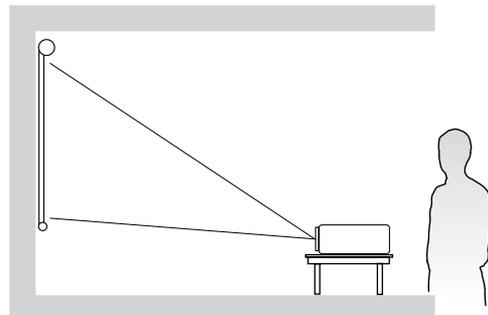
設置場所は、個人の好みや部屋のレイアウトによって選択できます。下記の点を考慮してください。

- スクリーンのサイズと位置。
- 適切な電源コンセントがある場所。
- プロジェクターと他の装置との位置と距離。

本機は次の設置状態で使うことができます。

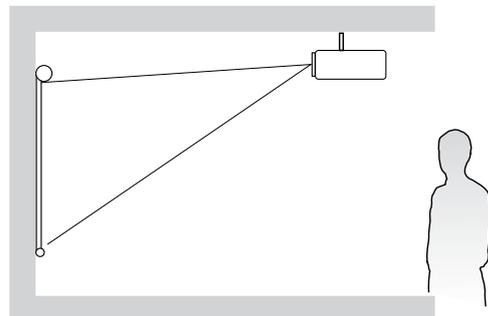
### 1. フロント投映

プロジェクターをスクリーン正面の床面近くに設置します。これが最も一般的な設定です。



### 2. 天吊正面

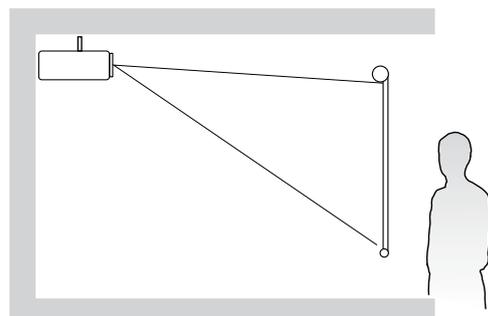
プロジェクターを上下逆さにスクリーン正面の天井に取り付けます。プロジェクター天井取り付けキットが必要です。



### 3. 天吊背面

プロジェクターを上下逆さにスクリーン背面の天井に取り付けます。

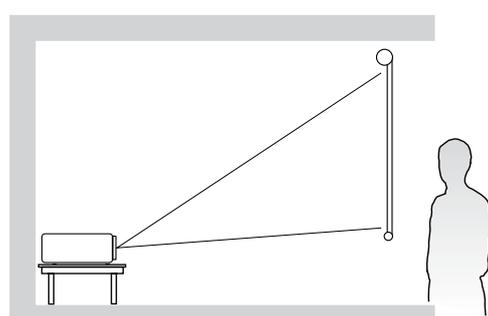
**注意事項：**専用の背面投影用スクリーンが必要です。



### 4. リア投映

プロジェクターをスクリーン背面の床面近くに設置します。

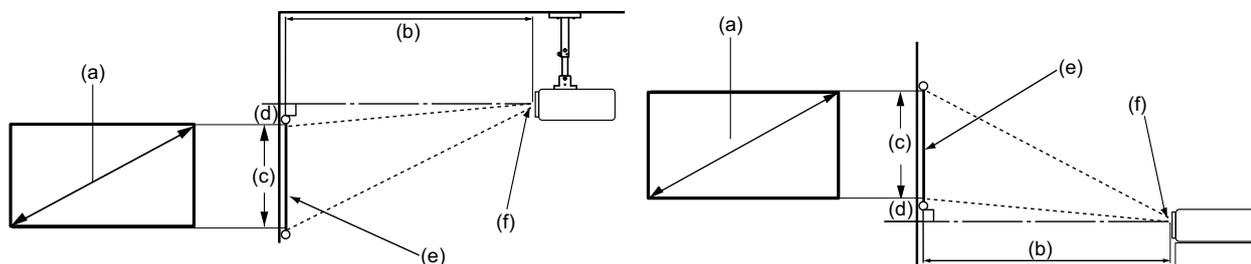
**注意事項：**専用の背面投影用スクリーンが必要です



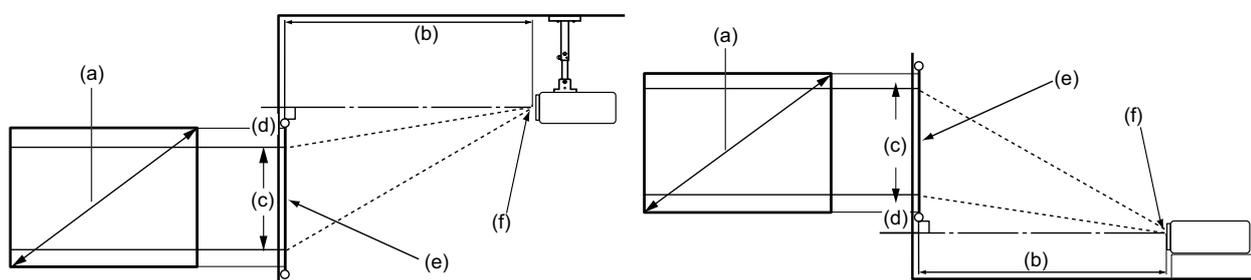
# 投写サイズ

注意事項：本機のネイティブ解像度については、61ページの「仕様」をご参照ください。

## • 16:9 スクリーンの 16:9 画像



## • 4:3 スクリーンの 16:9 画像



注意事項：(e) = スクリーン / (f) = レンズを中心

PX701-4K

16:9 スクリーンの 16:9 画像

(a) スクリーンサイズ		(b) 投写距離				(c) 画像の高さ		(d) 縦オフセット			
		最小		最大				最小		最大	
インチ	mm	インチ	mm	インチ	mm	インチ	mm	インチ	mm	インチ	mm
60	1524	79	1996	86	2195	29	747	35	897	35.3	897
70	1778	92	2328	101	2561	34	872	41	1046	41.2	1046
80	2032	105	2661	115	2927	39	996	47	1195	47.1	1195
90	2286	118	2994	130	3293	44	1121	53	1345	52.9	1345
100	2540	131	3326	144	3659	49	1245	59	1494	58.8	1494
110	2794	144	3659	158	4025	54	1370	65	1644	64.7	1644
120	3048	157	3992	173	4391	59	1494	71	1793	70.6	1793
130	3302	170	4324	187	4757	64	1619	76	1943	76.5	1943
140	3556	183	4657	202	5123	69	1743	82	2092	82.4	2092
150	3810	196	4989	216	5488	74	1868	88	2241	88.2	2241
160	4064	210	5322	230	5854	78	1992	94	2391	94.1	2391
170	4318	223	5655	245	6220	83	2117	100	2540	100.0	2540
180	4572	236	5987	259	6586	88	2241	106	2690	105.9	2690
190	4826	249	6320	274	6952	93	2366	112	2839	111.8	2839
200	5080	262	6653	288	7318	98	2491	118	2989	117.7	2989

4:3 スクリーンの 16:9 画像

(a) スクリーンサイズ		(b) 投写距離				(c) 画像の高さ		(d) 縦オフセット			
		最小		最大				最小		最大	
インチ	mm	インチ	mm	インチ	mm	インチ	mm	インチ	mm	インチ	mm
60	1524	72	1832	79	2015	27	686	32	823	32	823
70	1778	84	2137	93	2351	32	800	38	960	38	960
80	2032	96	2443	106	2687	36	914	43	1097	43	1097
90	2286	108	2748	119	3023	41	1029	49	1234	49	1234
100	2540	120	3053	132	3358	45	1143	54	1372	54	1372
110	2794	132	3358	145	3694	50	1257	59	1509	59	1509
120	3048	144	3664	159	4030	54	1372	65	1646	65	1646
130	3302	156	3969	172	4366	59	1486	70	1783	70	1783
140	3556	168	4274	185	4702	63	1600	76	1920	76	1920
150	3810	180	4580	198	5038	68	1715	81	2057	81	2057
160	4064	192	4885	212	5374	72	1829	86	2195	86	2195
170	4318	204	5190	225	5709	77	1943	92	2332	92	2332
180	4572	216	5496	238	6045	81	2057	97	2469	97	2469
190	4826	228	5801	251	6381	86	2172	103	2606	103	2606
200	5080	240	6106	264	6717	90	2286	108	2743	108	2743

**注意事項:** 光学部品の偏差のため、こちらのデータには3%の公差があります。本機を完全に取り付ける前に、投写サイズと距離を実際にテストしていただくことをお勧めします。

PX728-4K/PX748-4K

16:9 スクリーンの 16:9 画像

(a) スクリーンサイズ		(b) 投写距離				(c) 画像の高さ		(d) 縦オフセット			
		最小		最大				最小		最大	
インチ	mm	インチ	mm	インチ	mm	インチ	mm	インチ	mm	インチ	mm
60	1524	59	1497	77	1946	29	747	35	897	35.3	897
70	1778	69	1746	89	2270	34	872	41	1046	41.2	1046
80	2032	79	1996	102	2595	39	996	47	1195	47.1	1195
90	2286	88	2245	115	2919	44	1121	53	1345	52.9	1345
100	2540	98	2495	128	3243	49	1245	59	1494	58.8	1494
110	2794	108	2744	140	3567	54	1370	65	1644	64.7	1644
120	3048	118	2994	153	3892	59	1494	71	1793	70.6	1793
130	3302	128	3243	166	4216	64	1619	76	1943	76.5	1943
140	3556	138	3493	179	4540	69	1743	82	2092	82.4	2092
150	3810	147	3742	192	4865	74	1868	88	2241	88.2	2241
160	4064	157	3992	204	5189	78	1992	94	2391	94.1	2391
170	4318	167	4241	217	5513	83	2117	100	2540	100.0	2540
180	4572	177	4491	230	5838	88	2241	106	2690	105.9	2690
190	4826	187	4740	243	6162	93	2366	112	2839	111.8	2839
200	5080	196	4989	255	6486	98	2491	118	2989	117.7	2989

4:3 スクリーンの 16:9 画像

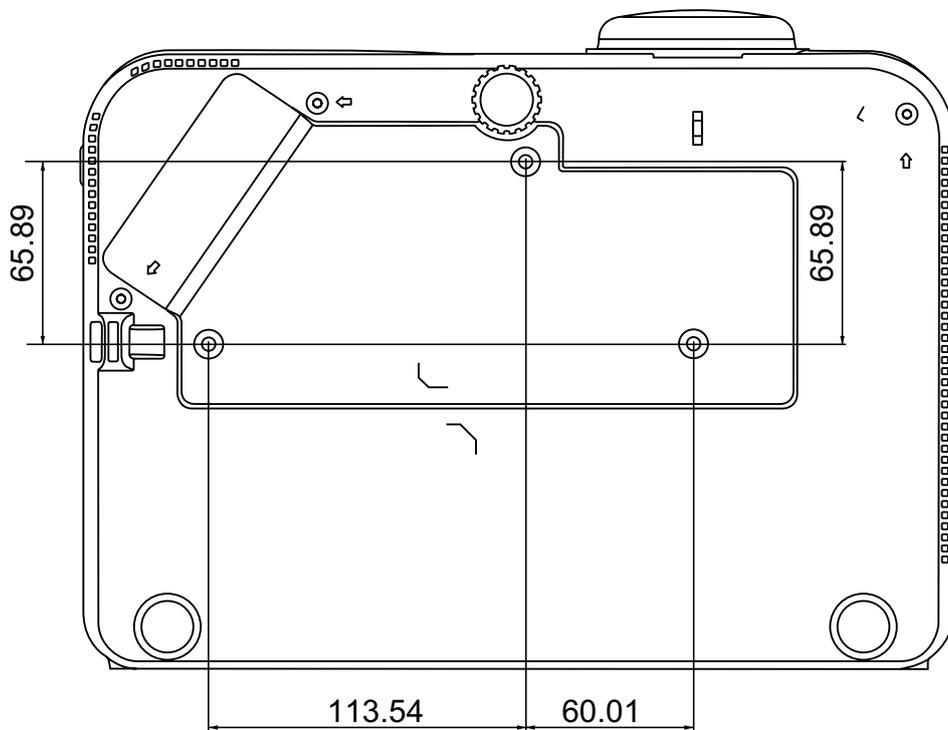
(a) スクリーンサイズ		(b) 投写距離				(c) 画像の高さ		(d) 縦オフセット			
		最小		最大				最小		最大	
インチ	mm	インチ	mm	インチ	mm	インチ	mm	インチ	mm	インチ	mm
60	1524	54	1374	70	1786	27	686	32	823	32	823
70	1778	63	1603	82	2084	32	800	38	960	38	960
80	2032	72	1832	94	2381	36	914	43	1097	43	1097
90	2286	81	2061	105	2679	41	1029	49	1234	49	1234
100	2540	90	2290	117	2977	45	1143	54	1372	54	1372
110	2794	99	2519	129	3275	50	1257	59	1509	59	1509
120	3048	108	2748	141	3572	54	1372	65	1646	65	1646
130	3302	117	2977	152	3870	59	1486	70	1783	70	1783
140	3556	126	3206	164	4168	63	1600	76	1920	76	1920
150	3810	135	3435	176	4465	68	1715	81	2057	81	2057
160	4064	144	3664	188	4763	72	1829	86	2195	86	2195
170	4318	153	3893	199	5061	77	1943	92	2332	92	2332
180	4572	162	4122	211	5358	81	2057	97	2469	97	2469
190	4826	171	4351	223	5656	86	2172	103	2606	103	2606
200	5080	180	4580	234	5954	90	2286	108	2743	108	2743

**注意事項:** 光学部品の偏差のため、こちらのデータには3%の公差があります。本機を完全に取り付ける前に、投写サイズと距離を実際にテストしてみることをお勧めします。

## プロジェクターの天井取り付け

**注意事項：** プロジェクターの天井取付キットを使用して設置する場合、正しいサイズのネジを使用してください。天井取付キットのプレートの厚さによってネジサイズは異なります。

1. 最も安全に設置するためには、耐荷重はプロジェクター本体の重量以上、M4 規格ネジに対応している天井取り付けキットをご利用してください。
2. マウントをプロジェクターに取り付けるために使用するネジの仕様は、下記にてご確認ください。
  - ネジタイプ：M4 x 8
  - ネジの最大長：8 mm



### 注意事項：

- プロジェクターを熱源の近くに設置しないでください。
- 天井と床の間は、プロジェクターの底面の上に少なくとも 10cm (3.9インチ) の隙間を空けてください。

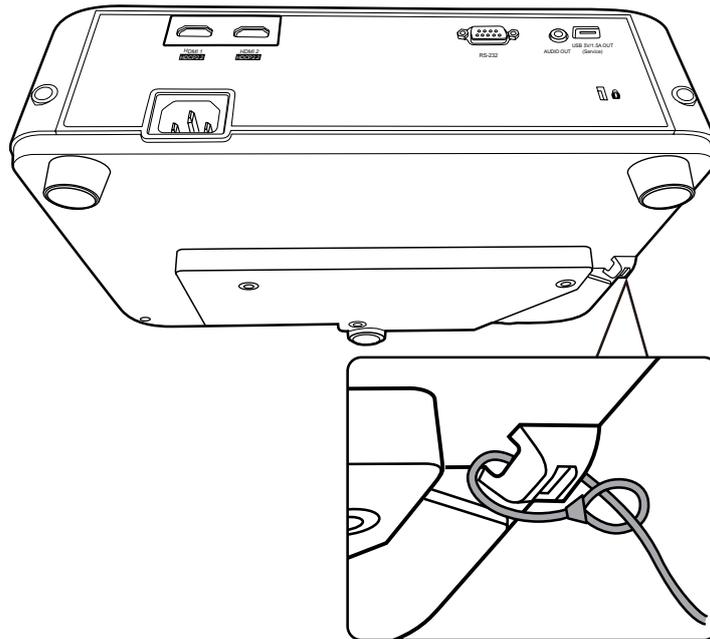
## 不正使用の防止

本機には盗難、不正使用、誤設定を防止するための機能がいくつか搭載されています。

### セキュリティスロットの使い方

本体の盗難を避けるために、セキュリティスロットロックデバイスを使用して、本体を固定物に固定してください。

下図のように、セキュリティスロットの設定例を紹介します。



**注意事項：** 本機を天井に取り付けてある場合、セキュリティスロットは安全のための固定機能として使用することができます。

## パスワード機能の使用

不正アクセスや不正使用を防止するために、本機にはパスワードオプションが搭載されています。パスワードは OSD メニューにて設定できます。

**注意事項:** パスワードは書き留めておいて、安全な場所に保管しておいてください。

## パスワードの設定

1. **Menu** を押して OSD メニューを開き、**システム > セキュリティ設定** を選択して **Enter** を押します。
2. **電源ロック** を選択し、**◀/▶** を押して **オン** を選択します。
3. 右図に示す通り、4 つの矢印キー（▲、▶、▼、◀）はそれぞれ4つの数字（1、2、3、4）を示しています。矢印キーを使って6桁のパスワードを設定してください。



4. 新しいパスワードを再度入力して新しいパスワードを確認してください。パスワードの設定が完了すると、OSD メニューは**セキュリティ設定**ページに戻ります。
5. **Exit** を押して OSD メニューを閉じます。  
**注意事項:** パスワードを設定した後、本機を起動する時に正しいパスワードを入力する必要があります。

## パスワードの変更

1. **Menu** を押して OSD メニューを開き、**システム > セキュリティ設定 > パスワードの変更** を選択します。
2. **Enter** を押すと、「現在のパスワード」というメッセージが表示されます。
3. 現在のパスワードを入力してください。
  - » パスワードが正しければ、「新しいパスワード」というメッセージが表示されます。
  - » パスワードを正しく入力しなければ、5 秒間パスワードエラーメッセージが表示され、続いて「現在のパスワード」というメッセージが表示されます。次に、入力し直してください。キャンセルする場合は、**Exit** を押します。
4. 新しいパスワードを入力します。
5. 新しいパスワードを再度入力して新しいパスワードを確認してください。
6. OSD メニューを終了するには、**Exit** を押します。  
**注意事項:** 入力した数字は画面上にはアスタリスク (\*) で表示されます。

## パスワード機能を無効にする

1. **Menu** を押して OSD メニューを開き、**システム > セキュリティ設定 > 電源ロック** を選択します。
  2. **◀/▶** を押して、**オフ** を選択します。
  3. 選択すると、「パスワードの入力」というメッセージが表示されます。現在のパスワードを入力してください。
    - » パスワードが正しく入力された場合は、電源ロックのオプションが「オフ」の状態に戻ります。
    - » パスワードを正しく入力しなければ、5 秒間パスワードエラーメッセージが表示され、続いて「現在のパスワード」というメッセージが表示されます。次に、入力し直してください。キャンセルする場合は、**Exit** を押します。
- 注意事項:** 古いパスワードは、パスワード機能を再度有効にするときに必要ですので記録しておいてください。

## パスワードを忘れた場合

パスワード機能を有効にすると、プロジェクターを起動にする時に、6桁のパスワードを入力するよう要求されます。間違ったパスワードを入力すると、右図のようなパスワードエラーメッセージが5秒間表示され、次に「パスワードの入力」というメッセージが表示されます。

やり直すことができますが、パスワードを忘れた場合は、以下の「パスワード呼び出し手順」を行ってください。

**注意事項：**パスワード入力を続けて5回間違えると、本機は間もなく自動的にシャットダウンします。

## パスワード呼び出し手順

1. 「現在のパスワード」というメッセージが表示されたら、3秒間 **Auto Sync** を押し続けてください。スクリーン上にコード化された番号が表示されます。
  2. 番号を書き留めて、プロジェクターをオフにしてください。
  3. 番号をデコードするには、ViewSonic カスタマーサポートセンターまでお問い合わせください。お客様がこのプロジェクターを使用できる正当なユーザーであることを確認するために、購入を証明する文書の提示を求められる場合があります。
- カスタマーサポート情報については、75ページの「カスタマーサポート」の章をご参照ください。



## コントロールボタンをロックする

プロジェクターのコントロールボタンをロックしておくこと、（例えばお子様によって）本機の設定が誤って変更されるのを防止することができます。

**注意事項：**コントロールボタンロックがオンになっているときには、本機のコントロールボタンは電源を除き、どれも作動しません。

1. **Menu** を押して OSD メニューを開き、**システム > コントロールボタンロック** を選択します。
2. **▲/▼** を押して**オン**を選択します。
3. **はい** を選択して、**Enter** を押して確定します。
4. コントロールボタンロックを解除するには、本機の**▶**を3秒間押します。

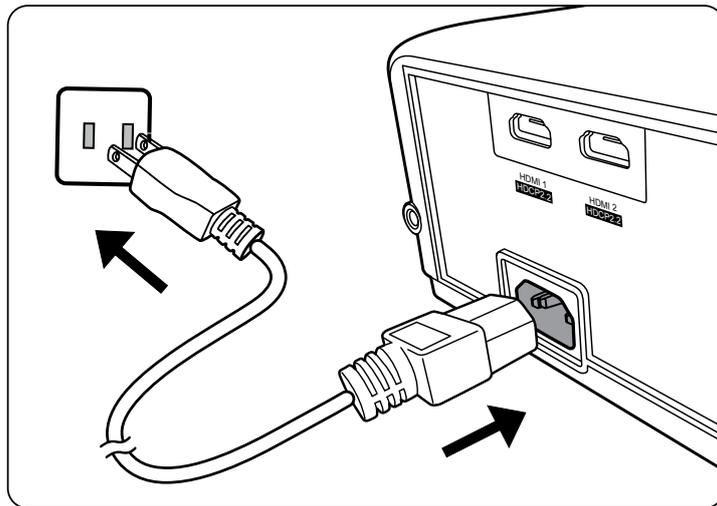
**注意事項：** リモコンを使って**システム > コントロールボタンロック**メニューに入り、**オフ**を選択することができます。

## > 接続

本章では、本機と他の装置の接続方法について説明します。

### 電源の接続

1. 本機の背面にある AC 入力ジャックに電源コードを接続します。
2. 電源コードのプラグをコンセントに差し込みます。



**注意事項：** プロジェクターを設置する際、固定配線にすぐに手が届く切断機器を組み込むか、電源プラグを装置の近くにあるアクセスしやすいコンセントに接続してください。プロジェクターの操作中に障害が発生した場合は、切断機器を使用して電源を切るや、電源プラグを抜いてください。

# 外付け機器への接続

## HDMI 接続

HDMI ケーブルの片方を外付け機器の HDMI ポートに接続し、ケーブルのもう一方を本機の **HDMI 1** または **HDMI 2** ポートに接続します。

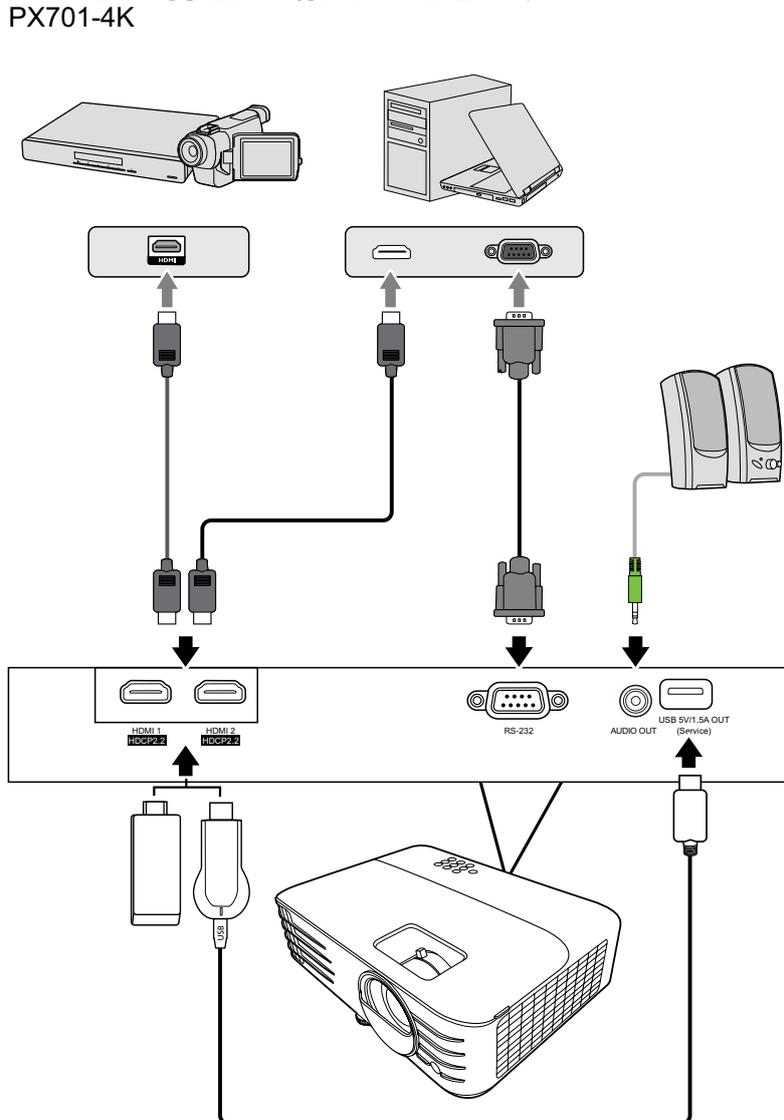
**注意事項:** Phone/iPad から HDMI 接続をする場合は、別途、変換アダプターを使用する必要があります。

## オーディオ接続

本機にはスピーカーが搭載されていますが、外部スピーカーを本機の音声信号出力ステレオミニジャックに接続することもできます。

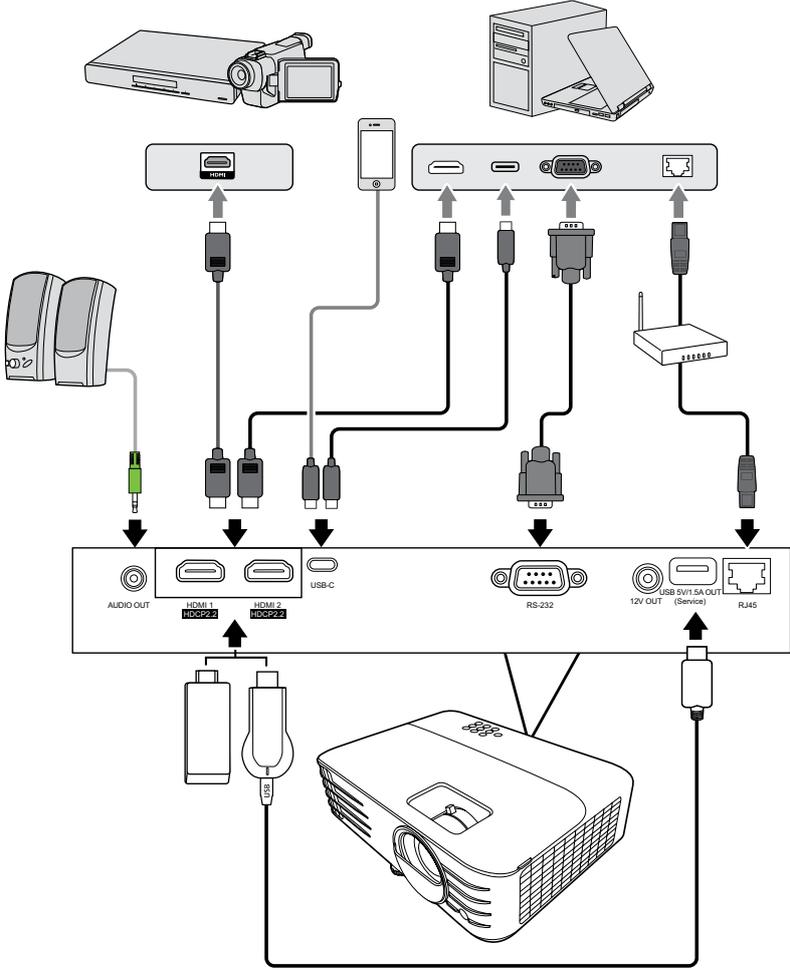
**注意事項:** オーディオ出力は、本機の **音量** と **ミュート** 設定で制御します。

下の接続図は参照です。プロジェクターにある接続ポートは、プロジェクターのモデルによって異なり、本機には含まれないケーブルもあります。含まれないケーブルは、別途ご購入ください。



PX701-4K

PX728-4K / PX748-4K



**HDMI**<sup>®</sup>  
HIGH-DEFINITION MULTIMEDIA INTERFACE

# > プロジェクターの使用法

## プロジェクターの電源をオン/オフにする

### プロジェクターの起動

1. 本機の電源を入れるには、**電源**ボタンを押します。
2. 次に、光源が点灯し、「**電源オン/オフ音**」が鳴ります。
3. 本機がオンになると、電源インジケータが緑色に点灯します。

#### 注意事項:

- 本機が前回使用したときから完全に冷め切っていない場合は、光源に電力が供給されるまで約 90 秒間冷却ファンが作動します。
  - 光源の寿命を延長するには、本機の電源を入れた後は 5 分間待ってから電源を切ってください。
4. パソコンなど、接続した装置をオンにすると、本機が起動して入力を検出を開始します。

**注意事項:** 本機が入力ソースを検出すると、ソース選択メニューが表示されます。入力ソースが検出されない場合は、「信号なし」というメッセージが表示されます。

### 初めて起動する場合

初めて本機を起動する場合は、画面の指示に従って OSD 言語を選択してください。



## プロジェクターをオフにする

1. **電源**またはリモコンの **Off** ボタンを押すと、**電源**または **Off** ボタンを再度押すよう促す確認メッセージが表示されます。また、他のボタンをどれでも押すと操作がキャンセルされます。

**注意事項：**最初に押してから数秒以内に応答しなければ、メッセージは自動的に消えます。

2. 冷却処理が完了したら、「**電源オン/オフ音**」が鳴ります。
3. 長時間本機を使用しない場合は、コンセントから電源コードを抜いてください。

### **注意事項：**

- 光源を保護するため、冷却プロセスの間はプロジェクターはいかなるコマンドにも反応しません。
- 本機のオフが完了するまでは、電源コードを抜かないでください。

## 入力ソースの選択

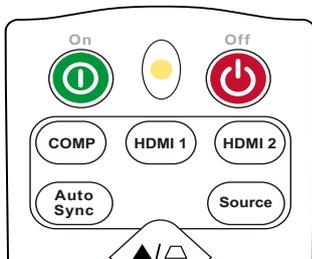
本機には同時に複数の装置を接続することができます。ただし一度に表示できる装置は1台です。

本機に自動的に入力ソースを検出させるには、**システムメニューでクイック自動検索機能がオン**になっているか確認してください。



また、**入力ソース**を接続すると、リモコンのソース選択ボタンの1つを押して信号を手動で選択したり、使用可能な入力信号を切り替えることもできます。

PX728-4K / PX748-4K



PX701-4K



入力ソースを手動で選択するには、次の手順に従ってください。

1. **Source** を押すと、ソース選択メニューが表示されます。
2. 任意の信号が選択されるまで **▲/▼** を押し、次に **Enter** を押します。
3. 信号が検出されたら、選択したソース情報が画面に数秒間表示されます。  
**注意事項:** 本機に複数のデバイスが接続されている場合は、ステップ 1-2 を繰り返すと別の信号を検出することができます。

# 投写画像の調整

## 高さと投写角度の調整

本機には高さ調整用脚が1個付いています。高さ調整用脚を調節すると、本機の高さと垂直投写角度も変わります。投写画像の位置を調整するためには、高さ調整用脚をゆっくりと調整してください。

## 画像の自動調整

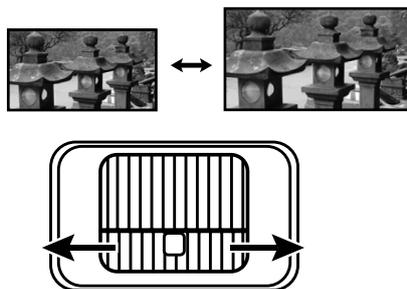
場合によっては、画質を最適化する必要が生じることもあります。これを行うには、リモコンの **Auto Sync** を押します。組み込みのインテリジェント自動調整機能により周波数およびクロックの値が再調整され、5秒以内に最適な画質が得られます。

完了したら、現在の入力源情報が左隅に3秒間表示されます。

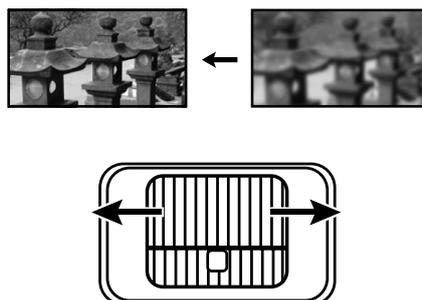
**注意事項:** この機能は PC D-Sub 入力信号(アナログ RGB/COMPUTER IN)が選択されている場合にしか使用できません。

## 画像サイズとフォーカスの微調整

投写されたイメージのサイズを調整するには、ズームリングを回転してください。



画像のフォーカスを調整するには、フォーカスリングを回転してください。

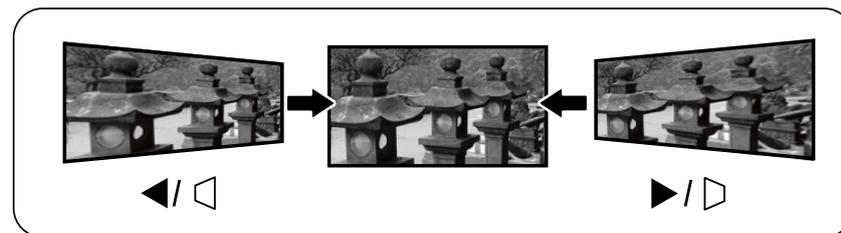
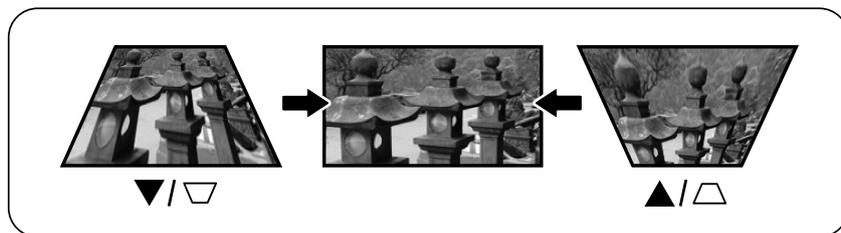


## 台形補正

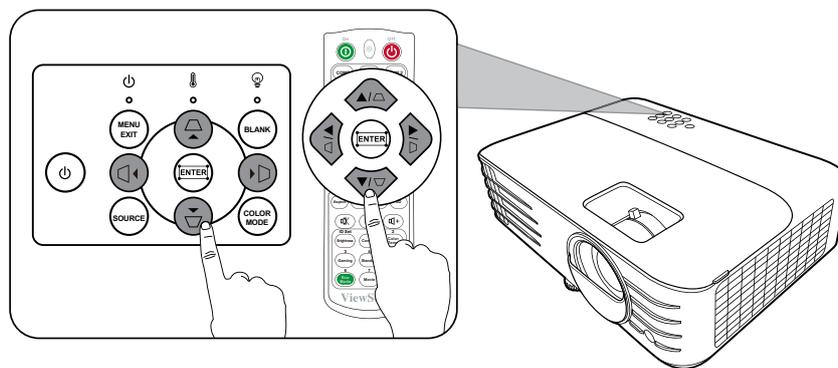
台形補正とは、まっすぐに投写されなかったため、投写画像の上部または下部のいずれかが長くなってしまいう状態のことです。

これを修正するには、本機の角度を調整するほか、次のいずれかを行うこともできます。

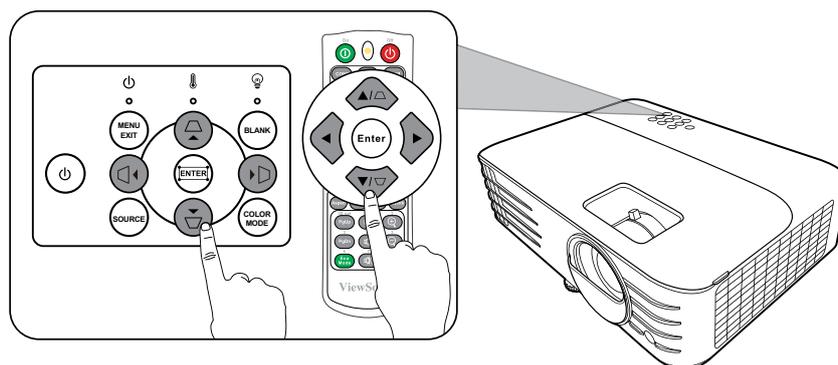
1. プロジェクターまたはリモコンの台形補正ボタンを使って、台形補正メニューを表示します。
2. 台形補正メニューが表示されたら、/を押して画像上部の歪みを補正します。を押すと、画像の下部の歪みが補正されます。を押すと、画像の右側の台形歪みが補正されます。を押すと、画像の左側の台形歪みが補正されます。



PX728-4K / PX748-4K



PX701-4K

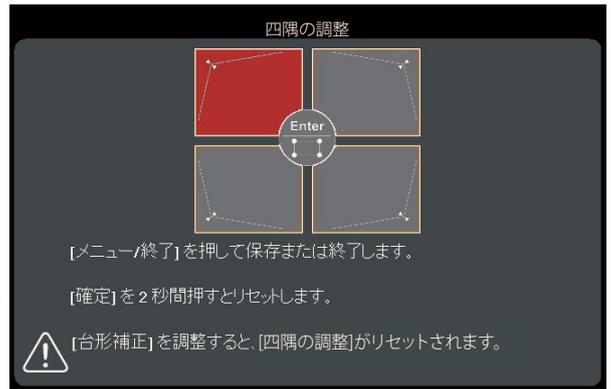


## 4 隅の調整

各隅が均等でない画像の形状とサイズを手動で調整することができます。

1. 四隅の調整メニューを開くには、次のいずれかの方法があります：

- **Enter** を押すと開きます。
- **Menu** ボタンを押して、OSD メニューを開き、**表示 > 四隅の調整メニュー** を選択して **Enter** を押します。すると、**四隅の調整メニュー**が表示されます。



2. **▲/▼/◀/▶** を使って調整したい角を選択し、**Enter** を押します。

3. **◀/▶** を使って調整方法を選択し、**Enter** を押します。

4. スクリーンに示されたとおり(45 度に調整するには **▲/▼** を押します、90 度に調整するには **▲/▼/▶/◀** を押します。)、**▲/▼/◀/▶** を押すと形状とサイズが調整されます。**Menu** または **Exit** を押すと、前のステップに戻ります。**Enter** を 2 秒間長押しすると、調整がリセットされます。

選択した角が示されます。



### 注意事項：

- 台形補正を行うと、**四隅の調整**設定がリセットされます。
- **四隅の調整**設定を調整した後は、アスペクト比またはタイミングが使用できなくなる場合があります。その場合は、4 隅全部の設定をリセットしてください。

## 画像を隠す

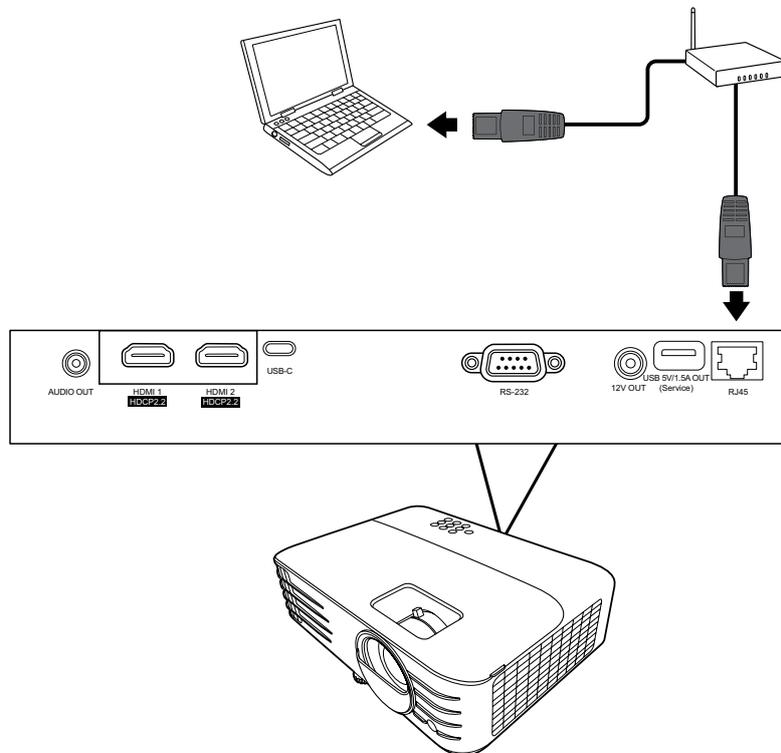
プロジェクターリモコンの **Blank** を押すとスクリーンの画像が消えるため、聴衆の関心を講演者に向けることができます。プロジェクターまたはリモコンのいずれかのボタンを押すと、画像を再開することができます。

**注意事項：** 投写中に投写レンズを他の物体で覆わないでください。その物体が過熱し変形したり、火災の原因となり危険です。

# LAN 環境によるプロジェクターの制御

**注意事項:** この機能は、PX728-4K/PX748-4K 専用です。

本機は Crestron® ソフトウェアに対応します。LAN 制御設定メニューの正しい設定を使うと、コンピューターとプロジェクターが同じ LAN に接続されている場合は、ウェブブラウザでコンピューターからプロジェクターを管理と操作することができます。



## LAN 制御設定の設定

• DHCP 環境の場合:

1. RJ45 ケーブルを使って、プロジェクターの RJ45 ポートに接続してください。
2. OSD メニューを開き、**詳細 > LAN コントロール設定**メニューを選択してください。**Enter** を押すと **LAN コントロール設定**メニューが表示されます。
3. **LAN 設定**を選択し、**◀▶** を使って **DHCP オン**を選択してください。
4. **▼** を使って、最下部の**適用**を選択し、次に **Enter** を押してください。
5. 15 - 20 秒ほどお待ちになると、**LAN 設定**ページが再度開きます。**プロジェクターの IP アドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイ、DNS サーバー**設定が表示されます。**プロジェクターの IP アドレス**列に表示される IP アドレスを書き留めておいてください。

### 注意事項:

- それでも**プロジェクターの IP アドレス**が表示されない場合は、ネットワーク管理者にお問い合わせください。
- RJ45 ケーブルが正しく接続されていない場合は、**プロジェクターの IP アドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイ**

イ、DNS サーバー設定は 0.0.0.0 と表示されます。ケーブルが正しく接続されており、上記の手順を再度確認してください。

- スタンバイモードでプロジェクターに接続する必要がある場合は、**詳細 > LAN コントロール設定メニュー**で **LAN コントロールスタンバイ**をオンに設定してください。

• 非 DHCP 環境の場合：

1. 上記の 1-2 のステップの手順に従ってください。
2. **LAN 設定**を選択し、◀/▶ を押して**静止 IP**を選択してください。
3. ネットワーク管理者から**プロジェクターの IP アドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイ、DNS サーバー設定**などの情報を取得してください。
4. 調整したい項目を選択し、**Enter** を押します。
5. ◀/▶ を使ってカーソルを移動し、▲/▼ を押して値を入力します。
6. 設定を保存するには、**Enter** を押します。設定を保存しない場合は、**Exit** を押してください。
7. ▼ を使って**適用**を選択し、次に **Enter** を押してください。

#### 注意事項：

- RJ45 ケーブルが正しく接続されていなければ、**プロジェクターの IP アドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイ、DNS サーバー設定**は 0.0.0.0 と表示されます。ケーブルが正しく接続されており、上記の手順を再度確認してください。
- プロジェクターをスタンバイモードで接続したい場合は、**静止 IP** を選択し、プロジェクターがオンのときに**プロジェクターの IP アドレス、サブネットマスク、既定のゲートウェイ、DNS サーバー情報**を取得してください。

# > メニューの操作

本章では、OSD メニューとそのオプションについて説明します。

## 一般的な OSD メニューの操作

**注意事項：**本書に掲載される OSD 画像は参照用であり、実際の仕様とは異なる可能性があります。また、次の OSD 設定の一部はご使用いただけない場合があります。実機の OSD をご参照ください。

本機には各種の調整や設定が行える、OSD メニューが備わっています。プロジェクターまたはリモコンの **Menu ボタン** を押すと表示されます。



1. ◀/▶ を使って、メインメニューにてご希望の項目を選択します。次に、Enter を押すか、▲/▼ を使ってサブメニューを開きます。
2. ▲/▼ を押して、メニューオプションを選択します。次に、Enter を押してそのサブメニューを表示します。または、◀/▶ を押して設定を調整/選択します。

**注意事項：**サブメニュー オプションの中には、別のサブメニューもあります。それぞれのサブメニューを開くには、Enter を押します。設定を調整/選択するには、▲/▼ または ◀/▶ を使います。

# オンスクリーンディスプレイ (OSD) メニュー構造

メインメニュー	サブメニュー	メニューオプション		
表示	アスペクト比	自動		
		4:3		
		16:9		
		16:10		
		2.35:1		
		ネイティブ		
	台形補正	自動台形補正		オフ / オン
		手動	垂直	-40~40
			水平	-40~40
			回転	-40~40
	四隅の調整	右上		45° /90°
		左上		45° /90°
		右下		45° /90°
		左下		45° /90°
	ワープ	有効		オフ / オン
		操作方式		OSD
				RS232
		ワープ調整		
		リセット		
	ズーム	0.8X ~2.0X		
	デジタルレンズシフト	垂直		-50~50
		水平		-50~50
	オーバースキャン	オフ /1/2/3/4/5		

メインメニュー	サブメニュー	メニューオプション		
画像	カラーモード	明るい		
		スポーツ		
		標準		
		ゲーム		
		映画		
		ISF 昼間	(PX728-4K 専用)	
		ISF 夜間		
		ユーザー設定 1		
		ユーザー設定 2		
	輝度	0~100		
	コントラスト	-50~50		
	色温度	9500K/8500K/7500K/6500K/5500K		
		赤ゲイン	0~100	
		緑ゲイン	0~100	
		青ゲイン	0~100	
		赤オフセット	-50~+50	
		緑オフセット	-50~+50	
		青オフセット	-50~+50	
	詳細設定	色	-50~50	
		シャープネス	0~31	
		ガンマ調整	1.8/2.0/2.2/2.35/ 2.5/Cubic/sRGB	
		Brilliantcolor	オフ /1/2/3/4/ 5/6/7/8/9/10	
		カラーマネージメント	原色	
色相				
彩度				
ゲイン				

メインメニュー	サブメニュー	メニューオプション		
画像	サイレンスモード	オン		
		オフ		
	カラー設定をリセット	リセット		
		キャンセル		
ISF モード (PX728-4K 専用)	(パスワード保護)			
電源管理	自動電源オン	信号	無効 / HDMI	
		CEC	無効 / 有効	
		ダイレクト電源オン	無効 / 有効	
	スマートエネルギー	オートパワーオフ	無効 / 10 分 / 20 分 / 30 分	
		スリープタイマー	無効 / 30 分 / 1 時間 / 2 時間 / 3 時間 / 4 時間 / 8 時間 / 12 時間	
		省電力モード	無効 / 有効	
	USB A 電源	オン		
		オフ		

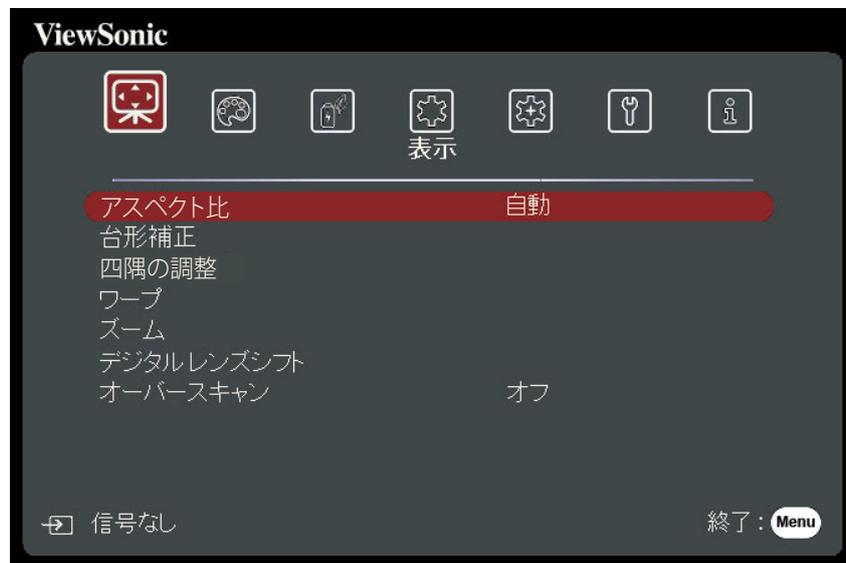
メインメニュー	サブメニュー	メニューオプション		
基本設定	オーディオ設定	ミュート	オフ / オン	
		オーディオ音量	0~20	
		電源オン / オフ お知らせ音	オフ / オン	
	プレゼンテーション タイマー	タイマーの時間	1~240 分	
		タイマー表示	常に使用する / 1 分 2 分 / 3 分 / 常に使用しない	
		タイマーの位置	左上 / 左下 / 右上 / 右下	
		タイマーのカウント方法	減少 / 増加	
		サウンドによる通知	オフ / オン	
		カウント開始 / オフ		
	パターン	オフ		
		テストカード		
	画面オフタイマー	無効 / 5 分 / 10 分 / 15 分 / 20 分 / 25 分 / 30 分		
	メッセージ	オフ		
		オン		
	スプラッシュスクリーン	黒		
		青		
		ViewSonic		

メインメニュー	サブメニュー	メニューオプション		
詳細設定	3D 設定 (PX728-4K/ PX748-4K 専用)	3D モード	オン / オフ	
		3D 逆同期	無効 / 逆転	
	HDMI 設定	HDMI フォーマット	自動 / RGB / YUV	
		HDMI 範囲	自動 / 拡張 / ノーマル	
	LAN コントロール 設定 (PX728-4K/ PX748-4K 専用)	LAN 設定	DHCP オン / 静止 IP	
		プロジェクターの IP アドレス		
		サブネットマスク		
		デフォルトゲートウェイ		
		DNS サーバー		
		LAN コントロール スタンバイ	オフ / オン	
		適用		
		HDR	HDR/HLG	自動 / SDR
	EOTF		低 / 中 / 高	
	Ultra Fast Input	非アクティブ		
		アクティブ		
	光源の設定	光源モード	ノーマル / Eco / Dynamic Eco / SuperEco+	
		光源時間をリセット		
		光源時間情報	光源使用時間	
			ノーマル	
			Eco	
			Dynamic Eco	
			SuperEco+	
	最大寿命換算時間			
設定をリセット	リセット			
	キャンセル			

メインメニュー	サブメニュー	メニューオプション		
システム	言語選択	多言語 OSD 選択		
	プロジェクターの 設置場所	フロント投映		
		リア投映		
		天吊背面		
		天吊正面		
	メニュー設定	メニュー表示時間	5 秒 / 10 秒 / 15 秒 / 20 秒 / 25 秒 / 30 秒	
		メニュー位置	中央 / 左上 / 右上 / 左下 / 右下	
	高地モード	オフ		
		オン		
	クイック自動検索	オフ		
		オン		
	セキュリティ設定	パスワードの変更		
		電源ロック		オフ / オン
	コントロール ボタンロック	オフ		
		オン		
リモコンコード	1/2/3/4/5/6/7/8			
操作方式	RS-232			
	USB			
ボーレート	2400/4800/9600/14400/19200/38400/ 57600/115200			
インフォメー ション	ソース			
	カラーモード			
	解像度			
	カラーシステム			
	IP アドレス	(PX728-4K/PX748-4K 専用)		
	MAC アドレス			
	ファームウェア バージョン			
	Ultra Fast Input			
	シリアル番号			

## 表示メニュー

1. リモコンまたはプロジェクター本体上部の **Menu** ボタンを押します。
2. ◀/▶ を押して、**表示メニュー**を選択します。次に、**Enter** を押すか、▲/▼ を使って**表示**を開きます。



3. ▲/▼ を押してメニューオプションを選択します。次に、**Enter** を押してそのサブメニューを表示します。または、◀/▶ を押して設定を調整/選択します。  
**注意事項:** サブメニュー オプションの中には、別のサブメニューもあります。それぞれのサブメニューを開くには、**Enter** を押します。設定を調整/選択するには、▲/▼ または ◀/▶ を使います。

メニュー オプション	説明
アスペクト比	<p><b>自動</b> プロジェクターの水平方向の解像度に合わせて、画像を比例的に拡大縮小します。これは、4:3と16:9ではない入力画像に適しており、画像のアスペクト比を変えずに、スクリーンを最大限に活用できます。</p> <p><b>4:3</b> 4:3のアスペクト比は、スクリーンの中央に表示されるように画像を拡大縮小します。アスペクト比を変更せずに表示できるので、これはコンピュータのモニター、標準テレビ、および4:3アスペクト比のDVD映画など4:3画像に最適です。</p> <p><b>16:9</b> 16:9のアスペクト比は、スクリーンの中央に表示されるように画像を拡大や縮小にします。高精細テレビのように、16:9のアスペクト比の画像に最適です。</p> <p><b>16:10</b> 16:10のアスペクト比は、スクリーンの中央に表示されるように画像を拡大縮小します。16:10のアスペクト比の画像に最も適しています。</p> <p><b>ネイティブ</b> 画像を元の解像度で投影し、表示領域内に収まるようにサイズ変更します。より低い解像度の入力信号の場合、投影された画像は元のサイズで表示されます。</p>
台形補正	<p>台形補正とは、まっすぐに投写されなかったため、投写画像の上部または下部のいずれかが長くなってしまい、歪んでいる台形を調整できる機能です。</p> <p><b>自動垂直台形補正</b> プロジェクターの傾きによって、歪んでいる台形の画像が表示されたときに、自動的に垂直の歪みを調整できます。</p> <p><b>手動</b> -40 から 40 までの範囲で、手動で垂直、水平と回転で歪みを調整できます。</p>
四隅の調整	四隅が均等でない画像の形状とサイズを調整します。

メニュー オプション	説明
ワープ	<p>この機能は、円柱や球体などの曲面に映像を写すとき、投写画像の歪みを調整します。</p> <p><b>有効</b> ワープ機能のオンとオフを切り替えます。 ワープがオンになっているときには、台形補正および四隅の調整機能は無効になります。</p> <p><b>操作方式</b> ワープ調整の制御方法を選択できます。</p> <p><b>ワープ調整</b> この機能は、投写画像にグリッドパターンを付けて、パターンにて画像補正を調整することができます。 操作方式には、下記手順に従ってください：</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>▲/▼/◀/▶を使ってカーソルを調整したいポイントに移動します。</li> <li>Enter を押して調整に入ります。カーソルは暗紅色に変わります。</li> <li>▼/◀/▶を使って、x 軸と y 軸のポイントをシフトさせます。</li> <li>Menu を押して調整を終了します。</li> <li>ステップ 1 から 4 を繰り返して、画像が正しく表示されるまで他のポイントも調整します。</li> <li>Menu/Exit を押して調整を終了します。</li> </ol> <p><b>リセット</b> ワープの設定を初期値に戻します。</p>
ズーム	投写画像を 0.8x - 2.0x の範囲で拡大、縮小します。
デジタルレンズシフト	<p>デジタルレンズシフトは、デジタルズームを 1 倍 (1.0x) 以下に調整されているとき、プロジェクターの画像をスクリーンに正しく合わせるようにする機能です。 デジタルレンズシフトは、投写画像を上、下、左、右に移動させて、より簡単に画像をスクリーンに合わせますので、手軽にプロジェクター設置することができます。 デジタルレンズシフトは、ズームの倍数が小さくに従って広くなります。</p>
オーバースキャン	<p>オーバースキャン率を 0 から 5 の範囲で調整します。</p> <p><b>注意事項：</b> この機能はコンポジットビデオまたは HDMI 入力信号が選択されている場合のみに対応します。</p>

# 画像メニュー

1. **Menu** を押して、OSD メニューを表示します。
2. ◀/▶ を使って、**画像**メニューを選択します。次に、**Enter** を押すか、▲/▼ を使って**オプション**を選択します。



3. ▲/▼ を使ってご希望のオプションを選択すると、**Enter** を押してサブメニューを表示します。または、◀/▶ を使って設定を調整、選択します。  
**注意事項:** サブメニュー オプションの中には、別のサブメニューもあります。サブメニューを開くには、**Enter** を押します。設定を調整/選択するには、▲/▼ または ◀/▶ を使ってください。

メニュー オプション	説明
カラーモード	<p><b>明るい</b>            投影画像の輝度を最大にします。このモードは非常に明るい環境、部屋に最適です。</p> <p><b>スポーツ</b>            明るい環境でスポーツ観戦向けに設計されたモードです。</p> <p><b>標準</b>            一般的な使用環境に適したモードです。</p> <p><b>ゲーム</b>            明るいリビングでビデオゲームを楽しむのに最適なモードです。</p> <p><b>ムービー</b>            このモードはやや暗めの部屋で、PC入力を介してデジタルカメラやDVからカラームービーやビデオクリップを再生するのに適しています。</p> <p><b>ISF 昼間 / ISF 夜間</b>            ISF モードがオンのときに使用できます。</p> <p><b>ユーザー設定 1/ユーザー設定 2</b>            カスタマイズした設定を呼び出します。ユーザー設定 1/ユーザー設定 2 を選択した後、選択した入力信号に応じて<b>画像メニュー</b>の一部のサブメニューを調整できるようになります。</p>
輝度	<p>値を大きくに調整すると、画像は明るくなります。値を小さくに調整すると、画像が暗くなります。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;">    </div>
コントラスト	<p>入力コンテンツと視聴環境を合わせるように、コントラストを調整すればピークホワイトレベルを設定できます。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;">    </div>

メニュー オプション	説明
色温度	<p>色温度は、5500K、6500K、7500K、8500K、および9500Kの5つの設定がプリセットされています。好みによって、最適な設定を選択することができます。</p> <p>カスタム色温度を設定するには、以下の項目を調整できます。</p> <p><b>赤ゲイン/緑ゲイン/青ゲイン</b> 赤、緑、青のコントラストレベルを調整します。</p> <p><b>赤オフセット/緑オフセット/青オフセット</b> 赤、緑、青の輝度レベルを調整します。</p>
詳細設定	<p><b>色</b> 数値を下げると、彩度が低くなります。設定が高すぎる場合、色が濃すぎて非現実的な色になってしまいます。</p> <p><b>シャープネス</b> 数値を大きく調整すると画像は鮮明になります。低い数値の場合、画像が柔らかくなります。</p> <p><b>ガンマ調整</b> ガンマとは、グレイスケールレベルの輝度レベルの関係を反映します。</p> <p><b>Brilliantcolor</b> この機能は新しい色処理アルゴリズム技術を利用することで、投写画像を鮮やかな色で本物のように再現すると共に、明るさをより高めることができます。ビデオや自然のシーンでよく見られる中間調イメージの場合は、50%以上の輝度を上げることができますので、自然な色を再現することが可能です。高画質が必要な場合は、必要に応じて数値を調整してください。</p>
詳細設定	<p><b>カラーマネージメント</b> 会議室、映画館、ホームシアターなど、照明レベルを調整できる場所に設置した場合、カラーマネージメントが必要となります。カラーマネージメントを使用すると、色をより正確に再現するために、より詳細に色を調整することができます。先に原色を選択し、次に色相、彩度およびゲインの範囲と数値を調整してください。</p>

メニュー オプション	説明
サイレンスモード	<p>アコースティックノイズを最小限に軽減します。プロジェクターのノイズを抑えて、非常に静かな環境で映画を鑑賞することに最適です。</p> <p><b>注意事項:</b> このモードを選択すると XPR 機能がオフになり、投写画像が自動的にフルHD 1080p 解像度に切り替わります。また、光源モードが Eco に切り替わります。さらに、一部の機能が使用できなくなります。</p>
カラー設定をリセット	現在の画像設定を工場出荷時にリセットします。
ISF モード (PX728-4K専用)	<p>ISF キャリブレーションメニューはパスワードで保護されており、許可された ISF キャリブレータのみアクセスできます。</p> <p>ISF (Imaging Science Foundation) はさまざまな面に配慮して開発された、映像を向上させる規格として業界で広く認識されています。また、ISF 認定映像機器で最適な画質を引き出すために、開発技術者や設置者向けが使用できるトレーニングプログラムが組み込まれています。そのため、設定とキャリブレーションは ISF 認定設置専門技術者が行うことをお勧めします。</p> <p><b>注意事項:</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>デフォルトのパスワード: ▲、▼、▲、▼、◀、▶。</li> <li>詳細は、<a href="http://www.imagingscience.com">www.imagingscience.com</a> (英語) をご覧になるか、製品を購入された販売店、代理店または ViewSonic カスタマーサポートセンターにお問い合わせください。</li> </ul>

# 電源管理メニュー

1. **Menu** を押して、OSD メニューを表示します。
2. ◀/▶ を使って、**電源管理**メニューを選択します。次に、**Enter** を押すか、▲/▼ を使って**電源管理**を開きます。

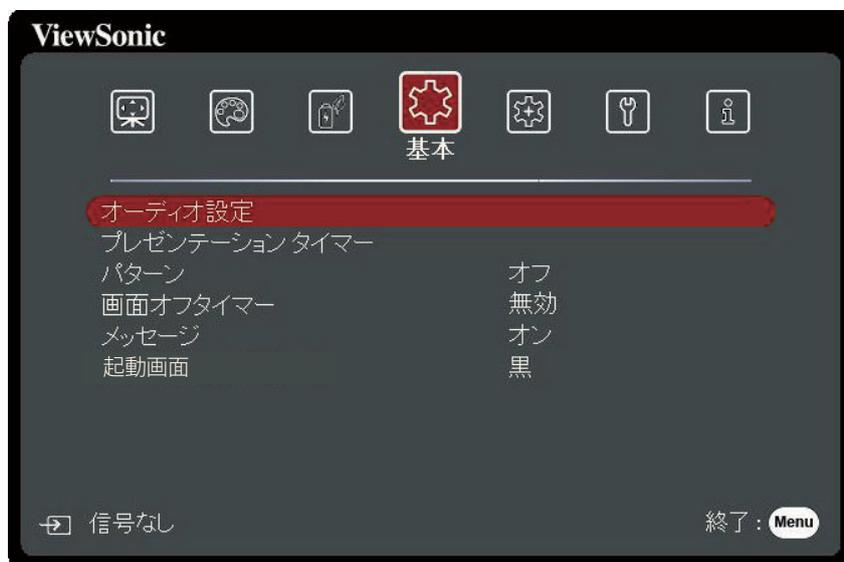


3. ▲/▼ を使ってご希望のオプションを選択すると、**Enter** を押してサブメニューを表示します。または、◀/▶ を使って設定を調整、選択します。  
**注意事項:** サブメニュー オプションの中には、別のサブメニューもあります。それぞれのサブメニューを開くには、**Enter** を押します。設定を調整/選択するには、▲/▼ または ◀/▶ を使います。

メニュー オプション	説明
自動電源オン	<p><b>信号</b> ご希望の入力信号を選択すると、該当ケーブルから信号が入力されるときに、プロジェクターが自動的にオンになります。また、すべての入力信号を受信するときに、本機が自動的にオンになります。</p> <p><b>CEC</b> 本機は、HDMI 接続を介して電源のオン/オフ操作を同期できる CEC (Consumer Electronics Control) 機能に対応しています。CEC 機能に対応している周辺機器がプロジェクターの HDMI 入力に接続されていると、プロジェクターの電源を切ったときには、接続した周辺機器の電源も自動的に切れます。接続されている周辺機器の電源を入れると、本機の電源も自動的に入ります。</p> <p><b>注意事項:</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• CEC 機能を正常に機能させるには、HDMI ケーブルにより周辺機器を本機の HDMI 入力に正しく接続すると CEC 機能が有効になります。</li> <li>• 接続した周辺機器によって、CEC 機能が作動しない場合があります。</li> </ul> <p><b>ダイレクト電源オン</b> 電源コードから電源が供給されると、本機は自動的にオンになります。</p>
スマートエネルギー	<p><b>オートパワーオフ</b> 指定した時間を経過しても入力信号が検出されないときには、光源の寿命を消耗しないように自動的に本機の電源をオフにします。</p> <p><b>スリープタイマー</b> 設定した時間を経過すると、光源の寿命を消耗しないように自動的に本機の電源をオフにします。</p> <p><b>省電力モード</b> 有効を選択すると、入力信号が検出されなければ、消費電力量は低減されます。5 分間信号が検出されない場合は、本機の光源モードは SuperEco+ モードに変更します。光源の寿命を延長するのに役立ちます。</p>
USB A 電源	<p>オンにすると、USB Type A ポートは電力の供給を可能にし、操作方式も自動的に RS-232 に切り替わります。</p>

# 基本メニュー

1. **Menu** を押して、OSD メニューを表示します。
2. ◀/▶ を使って、**基本**メニューを選択します。次に、**Enter** を押すか、▲/▼ を使って**基本**を開きます。



3. ▲/▼ を使ってご希望のオプションを選択すると、**Enter** を押してサブメニューを表示します。または、◀/▶ を使って設定を調整、選択します。

**注意事項:** サブメニュー オプションの中には、別のサブメニューもあります。それぞれのサブメニューを開くには、**Enter** を押します。設定を調整/選択するには、▲/▼ または ◀/▶ を使います。

メニューオプション	説明
オーディオ設定	<p><b>ミュート</b> オンを選択すると、プロジェクターの内蔵スピーカー、またはオーディオ出力ステレオミニジャックからの音量はオフになります。</p> <p><b>音量</b> 本機の内蔵スピーカーの音量レベル、またはオーディオ出力ステレオミニジャックの音量を調整します。</p> <p><b>電源オン/オフお知らせ音</b> 起動時とシャットダウン時のお知らせ音をオン/オフにします。</p>
プレゼンテーションタイマー	<p>プレゼンテーションタイマーはプレゼンテーション時間をスクリーン上に表示して、プレゼンターが上手く時間管理できるようにします。</p> <p><b>タイマーの時間</b> 時間範囲を設定します。既にタイマーがオンになっている場合は、タイマーの時間をリセットし、タイマーのカウントを新しく開始します。</p> <p><b>タイマー表示</b> 次の時間で画面にタイマーを表示できるようにします。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>» 常に使用する: プレゼンテーション中、常にタイマーをスクリーン上に表示します。</li> <li>» 1分/2分/3分: タイマーを最後の 1/2/3 分間だけ表示します。</li> <li>» 常に使用しない: プレゼンテーション中、タイマーを表示しません。</li> </ul> <p><b>タイマーの位置</b> スクリーン上に表示されるタイマーの位置を設定します。</p> <p><b>タイマーのカウント方法</b> カウントする方向を設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>» 減少: あらかじめ設定した時間から 0 までカウントダウンします。</li> <li>» 増加: 0 からあらかじめ設定した時間までカウントします。</li> </ul> <p><b>サウンドによる通知</b> サウンドによる通知を有効または無効にします。設定すると、カウントダウン/アップが残り 30 秒になるとピーツという音が 2 回鳴り、タイムアップすると 3 回鳴ります。</p> <p><b>カウント開始/オフ</b> カウント開始を選択すると、タイマーが有効になります。オフを選択すると、キャンセルします。</p>

メニューオプション	説明
パターン	テストパターンを表示し、画像サイズとフォーカスを調整して、投写画像の歪みをチェックすることができます。
画面オフタイマー	消画状態で一定期間無作動の状態が続くと、自動的に画像を表示する状態に戻すことができます。消画状態にするには、プロジェクター本体またはリモコンの <b>Blank</b> を押します。 <b>注意事項：</b> 投写中に投写レンズを他の物体で覆わないでください。その物体が過熱し変形したり、火災の原因となり大変危険です。
メッセージ	アラームメッセージをオンまたはオフにします。
起動画面	起動時に表示されるロゴ画面を選択することができます。

## 詳細メニュー

1. **Menu** を押して、OSD メニューを表示します。
2. ◀/▶ を使って、**詳細**メニューを選択します。次に、**Enter** を押すか、▲/▼ を使って**詳細**を開きます。



3. ▲/▼ を使ってご希望のオプションを選択すると、**Enter** を押してサブメニューを表示します。または、◀/▶ を使って設定を調整、選択します。  
**注意事項:** サブメニュー オプションの中には、別のサブメニューもあります。それぞれのサブメニューを開くには、**Enter** を押します。設定を調整/選択するには、▲/▼ または ◀/▶ を使います。

メニュー オプション	説明
<b>3D設定</b> (PX728-4K/PX748-4K のみ)	<p>本機には、画像に深みを与えることで3D映画、動画、スポーツイベントをよりリアルにお楽しみめる3D機能が搭載されています。3D映像をご覧になるには、3Dメガネを着用する必要があります。</p> <p><b>3Dモード</b>            3D機能を有効/無効にします。</p> <p><b>注意事項:</b> 3D同期機能がオンのとき:</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 投写画像の輝度レベルが下がります。</li> <li>• カラーモード、光源モード、ズーム、オーバースキャンは調整できません。</li> </ul> <p><b>3D逆同期</b>            画像の深さが逆転している場合は、この機能を有効にすると問題を解決できます。</p>
<b>HDMI 設定</b>	<p><b>HDMI フォーマット</b>            接続した出力機器の色空間設定に基づいて、適切なフォーマットを選択します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>» 自動:入力信号の色空間設定が自動的に検出されるように設定します。</li> <li>» RGB:色空間をRGBに設定します。</li> <li>» YUV:色範囲をYUVに設定します。</li> </ul> <p><b>HDMI 範囲</b>            接続した出力機器の色域設定に基づいて、適切なHDMI色域を選択します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>» 自動:プロジェクターに入力信号のHDMI範囲を自動的に検出させます。</li> <li>» 拡張:HDMI色範囲を0-255として設定します。</li> <li>» ノーマル:HDMI色範囲を16-235として設定します。</li> </ul>

メニュー オプション	説明
HDR	<p><b>HDR/HLG</b> 本機は、HDR/HLG 入力形式に対応します。これは入力ソースのダイナミックレンジを自動的に検出し、暗い部分と明るい部分の明暗差を、白飛びや黒つぶれすることなく、より細部まで鮮明に表現することができ、より現実感のあるリアルでダイナミックな映像を映し出します。その他、一般的なSDR 形式も選択できます。</p> <p><b>EOTF</b> プロジェクターは、入力ソースに応じて映像の輝度レベルを自動調整できます。通常は、デフォルト値「中」を推奨します。投写画像が暗い場合は、「低」を選択してください。グラデーションのプロパティが優先する場合は、「高」を選択してください。</p>
Ultra Fast Input	<p>Ultra Fast Input 機能を活用すると、遅延なく正確なタイミングでコマンドを実行できますので、ゲーミングにおける性能を向上させることが可能になります。</p> <p>有効にすると、次の設定が初期値に戻されます：ワープ、台形補正、四隅の調整、デジタルレンズシフト、ズーム。</p> <p><b>注意事項：</b> この機能は、ネイティブのタイミング入力信号が選択されている場合にしか使用できません。</p>

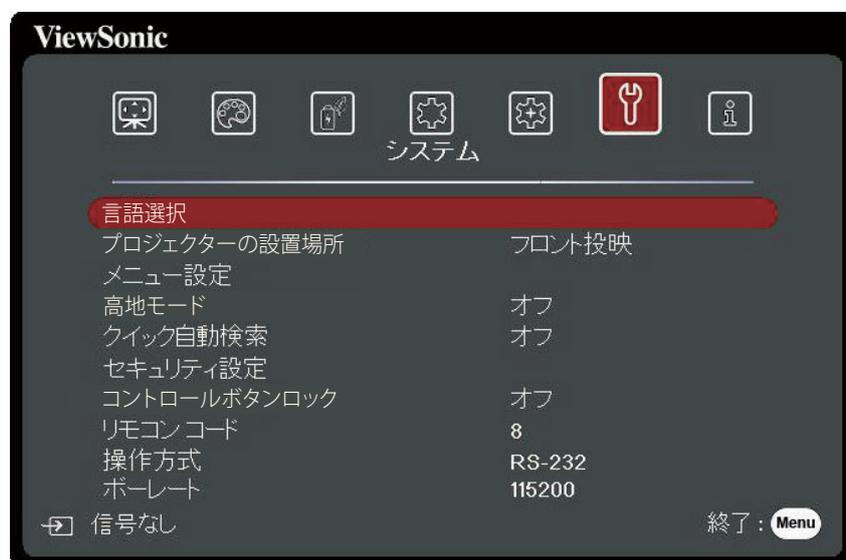
メニュー オプション	説明					
<b>LAN コント ロール設定</b> (PX728-4K/PX748-4K のみ)	<p><b>LAN 設定</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>» DHCP オン:DHCP 環境で プロジェクターの IP アドレス、サブネットマスク、 デフォルトゲートウェイ、DNS サーバー設定が自 動的に取得される場合は、これを選択してくださ い。</li> <li>» 静止 IP:非 DHCP 環境で、下記の設定に調整した 場合は、これを選択してください。</li> </ul> <table border="1" data-bbox="504 636 1473 893"> <tr> <td data-bbox="504 636 940 730">プロジェクトの IP アドレス</td> <td data-bbox="944 636 1473 730" rowspan="4">LAN 設定が静止 IP に設定されて いる場合のみ使用できます。 ◀/▶ を使用して欄を選択し、 ▲/▼ を使用して値を調整しま す。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="504 736 940 786">サブネットマスク</td> </tr> <tr> <td data-bbox="504 792 940 842">デフォルトゲートウェイ</td> </tr> <tr> <td data-bbox="504 848 940 893">DNS サーバー</td> </tr> </table> <p><b>LAN コントロール待機</b>            プロジェクターがスタンバイモードに入れた場合、            ネットワーク機能を提供しません。</p> <p><b>適用</b>            設定を適用にします。</p>	プロジェクトの IP アドレス	LAN 設定が静止 IP に設定されて いる場合のみ使用できます。 ◀/▶ を使用して欄を選択し、 ▲/▼ を使用して値を調整しま す。	サブネットマスク	デフォルトゲートウェイ	DNS サーバー
プロジェクトの IP アドレス	LAN 設定が静止 IP に設定されて いる場合のみ使用できます。 ◀/▶ を使用して欄を選択し、 ▲/▼ を使用して値を調整しま す。					
サブネットマスク						
デフォルトゲートウェイ						
DNS サーバー						

メニュー オプション	説明
光源の設定	<p><b>光源モード</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>» ノーマル:光源を最大輝度にします。</li> <li>» Eco:光源の電力消費量を最大 30% 低減し、輝度を下げて光源の寿命を延長させながら、ファンのノイズも低減させます。</li> <li>» Dynamic Eco:メディアコンテンツの輝度によっては、電力消費量を最大 65% 節電できます。</li> <li>» SuperEco+:光源の電力消費量を最大 60% 低減し、輝度を下げて光源の寿命を延長させながら、ファンのノイズも低減させます。</li> </ul> <p><b>注意事項:</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 光源温度を調整するには、光源モードを SuperEco+ に設定すると、エコモードが 4 時間毎に 10 分間オンになります。</li> <li>• カラーモードおよびカラー設定をリセットは、光源モードが SuperEco+ に設定されている場合に使用できません。</li> </ul> <p><b>光源時間をリセット</b></p> <p>新しいランプに交換した後は、光源タイマーをリセットします。ランプを交換する場合は、専門のサービス担当者にお問い合わせください。</p> <p><b>光源時間情報</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>» 光源使用時間:光源の使用時間数を表示します。</li> <li>» 最大寿命換算時間:各光源モードの使用時間を合計し、光源の寿命に換算して表示します。 計算方式は下記でございます:</li> </ul> <p><b>PX701-4K:</b>  最大寿命換算時間 = 3.34 x (ノーマルモードでの使用時間) + 2 x (Eco モードでの使用時間) + 1.34 x (Dynamic Eco モードでの使用時間) + 1 x (SuperEco+ モードでの使用時間)</p> <p><b>PX728-4K/PX748-4K:</b>  最大寿命換算時間 = 5 x (ノーマルモードでの使用時間) + 2 x (Eco モードでの使用時間) + 2.5 x (Dynamic Eco モードでの使用時間) + 1 x (SuperEco+ モードでの使用時間)</p>

メニュー オプション	説明
設定をリセット	すべての設定を工場出荷時の値に戻します。 設定をリセットを使用すると、以下の設定は現在の設定値のまま維持されます：ズーム、台形補正、四隅の調整、言語選択、プロジェクターの投写位置、USB A 電源、高地モード、セキュリティ設定、リモコンコード、操作方式、ボーレート。

## システムメニュー

1. **Menu** を押して、OSD メニューを表示します。
2. ◀/▶ を押して、**システムメニュー**を選択します。次に、**Enter** を押すか、▲/▼ を使って**システム**を開きます。



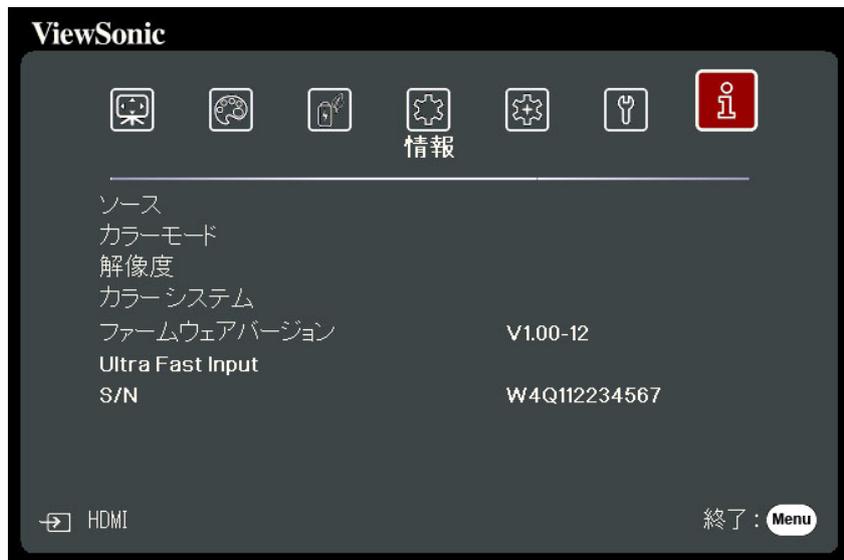
3. ▲/▼ を使ってご希望のオプションを選択すると、**Enter** を押してサブメニューを表示します。または、◀/▶ を使って設定を調整、選択します。  
**注意事項:** サブメニュー オプションの中には、別のサブメニューもあります。それぞれのサブメニューを開くには、**Enter** を押します。設定を調整/選択するには、▲/▼ または ◀/▶ を使います。

メニュー オプション	説明
言語選択	OSD メニューの言語を設定します。
プロジェクターの 設置場所	画像を正しく投写するために、プロジェクターの設置方式を選択します。
メニュー設定	<p><b>メニュー表示時間</b> OSD メニューが表示続ける時間を設定します。</p> <p><b>メニュー位置</b> OSD メニューの位置を選択します。</p>
高地モード	<p>海拔 1,500 m ~ 3,000 m、気温 5°C ~ 25°C の環境で本製品を使用する場合は、高地モードを使用することをお勧めします。</p> <p><b>注意事項：</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 高度 0 ~ 1,499 m、気温 5°C ~ 35°C の環境では高地モードはご使用にならないでください。このような環境で高地対応モードを使用すると、本機が過冷却してしまいます。</li> <li>• 高地モードでは、冷却と性能を高めるために、ファンの回転速度が速くなるためノイズが高くなります。</li> </ul>
クイック自動検索	入力信号を自動検出させることができます。
セキュリティ設定	詳細は、18 ページの「パスワード機能の使用」を参照してください。
コントロール ボタンロック	本機のコントロールボタンをロックします。
リモコンコード	<p>本機のリモコンコードを 1~8 に設定します。本機が同時に数台のリモコンに接続されている場合は、コードを切り換えると他のリモコンの干渉を受けません。リモコンコードを設定したら、このリモコンと同じ ID に切り換えると本機を操作できます。</p> <p>リモコンのコードを切り換えるには、リモコンの <b>ID set</b> と番号ボタンを同時に 5 秒以上押します。初期コードは 1 に設定されています。コードを 8 に切り替えると、リモコンで各プロジェクターを操作することができます。</p> <p><b>注意事項：</b> プロジェクターとリモコンに別のコードが設定されている場合は、リモコンからの応答はありません。そのような場合は、リモコンのコードを切り換えるように促すメッセージが表示されます。</p>

メニュー オプション	説明
操作方式	制御ポートを選択できます。RS-232 ポートまたは USB ポートを使用できます。USB を選択すると、USB A 電源は自動的にオフに切り替わります。
ボーレート	RS-232 コマンドで本機を操作できるように、適切な RS-232 ケーブルを使って本機をコンピューターに接続し、ボーレートはコンピューターと同じ値に設定してください。

## 情報メニュー

1. オンスクリーンディスプレイ (OSD) メニューで **Menu** を押します。
2. ◀/▶ を押して情報メニューを開くと、その内容が表示されます。



メニューオプション	説明
ソース	現在の入力源を表示します。
カラーモード	画像メニューで選択したモードを表示します。
解像度	入力源のネイティブ解像度を表示します。
カラーシステム	入力システムフォーマットを表示します。
IP アドレス (PX728-4K/PX748-4Kのみ)	プロジェクターの IP アドレスが表示されます。
MAC アドレス (PX728-4K/PX748-4Kのみ)	プロジェクターの MAC アドレスが表示されます。
ファームウェアバージョン	現在のファームウェアバージョンを表示します
Ultra Fast Input	機能がアクティブかどうかを表示します。
S/N	本機のシリアル番号を表示します。

# > 付録

## 仕様

アイテム	カテゴリ	仕様		
		PX701-4K	PX728-4K	PX748-4K
プロジェクター	タイプ	DLP ランプ		
	ディスプレイ サイズ	60"~200"		
	輝度 (ルーメン)	3,200 ANSI	2,000 ANSI	4,000 ANSI
	投写率	1.50~1.65 (95" ±3%@3.16m)	1.13~1.47 (95" ±3%@2.37m)	
	レンズ	光学ズーム 1.1x ±2%	光学ズーム 1.3x ±2%	
	光源タイプ	UHP 203W E20.7i	UHP 240W E20.7i	
	ディスプレイ システム	1-CHIP DMD		
入力信号	HDMI	f <sub>h</sub> : 15K~135KHz、f <sub>v</sub> : 23~240Hz <sup>1,2,3</sup> 、 ピクセルレート : 170MHz		
解像度	ネイティブ	3840 x 2160		
電源アダプター <sup>4</sup>	入力電圧	AC 100-240V、50/60 Hz (自動切り替え)		
操作条件	温度	0° C ~ 40° C (32° F ~ 104° F)		
	湿度	0% ~ 90% (結露なきこと)		
	高度	0 ~ 1,499 m (5° C ~ 35° C) 1,500 ~ 3,000 m (5° C ~ 25° C)		
保管条件	温度	-20° C ~ 60° C (結露なきこと)		
	湿度	0% ~ 90% (結露なきこと)		
	高度	0 ~ 1,219 m (-20° C ~ 30° C)		
外形寸法	本体 (W x H x D)	312 x 108.37 x 221.8 mm (12.3" x 4.3" x 8.7")		
重量	本体	4 kg	4 kg	
消費電力	標準 <sup>5</sup>	265W (標準)	310W (標準)	
	オフ	< 0.5W (スタンバイ)		

<sup>1</sup> 4.2ms超高速入力と240Hzを有効にするには、詳細設定でオンにし、入力コンテンツが240Hzのリフレッシュレートであることを確認してください。有効にした時にサポートされる最高の解像度は1080pです。

<sup>2</sup> 240Hz出力は、HDMIによる PC からの RGB 色域 1080p 解像度出力のみに対応しています。

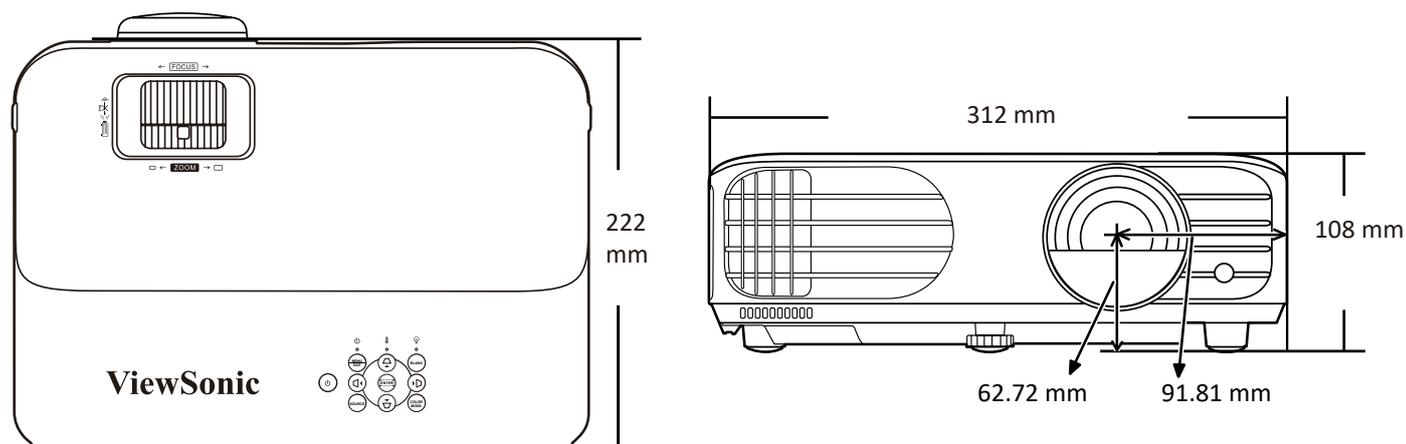
<sup>3</sup> PS4、PS5、XBOX の場合は、ゲーム機仕様の制限のため、240Hz出力に対応しておりません。

<sup>4</sup> ViewSonic® 製または認定されたメーカーのアダプター以外はご使用にならないでください。

<sup>5</sup> テスト条件は EEL 基準に準拠しています。

## 本機サイズ

312 mm (幅) x 108 mm (高さ) x 222 mm (奥行き)



## タイミングチャート

### HDMI (PC)

解像度	モード	リフレッシュレート (Hz)	水平周波数 (kHz)	クロック (MHz)	3D 同期 *
					フレームシーケンシャル
640 x 480	VGA_60	59.94	31.469	25.175	◎
	VGA_72	72.809	37.861	31.5	
	VGA_75	75	37.5	31.5	
	VGA_85	85.008	43.269	36	
720 x 400	720 x 400_70	70.087	31.469	28.3221	
800 x 600	SVGA_60	60.317	37.879	40	◎
	SVGA_72	72.188	48.077	50	
	SVGA_75	75	46.875	49.5	
	SVGA_85	85.061	53.674	56.25	
	SVGA_120 (Reduce Blanking)	119.854	77.425	83	◎
1024 x 768	XGA_60	60.004	48.363	65	◎
	XGA_70	70.069	56.476	75	
	XGA_75	75.029	60.023	78.75	
	XGA_85	84.997	68.667	94.5	
	XGA_120	119.804	98.958	137.750	
1152 x 864	1152 x 864_75	75	67.5	108	
1280 x 720	1280 x 720_60	60	45	74.25	◎
1280 x 768	1280 x 768_60	60	47.396	68.25	◎
	1280 x 768_60	59.87	47.776	79.5	◎

解像度	モード	リフレッシュレート (Hz)	水平周波数 (kHz)	クロック (MHz)	3D 同期 *
					フレーム シーケンシャル
1280 x 800	WXGA_60	59.81	49.702	83.5	◎
	WXGA_75	74.934	62.795	106.5	
	WXGA_85	84.88	71.554	122.5	
1280 x 1024	SXGA_60	60.02	63.981	108	
	SXGA_75	75.025	79.976	135	
	SXGA_85	85.024	91.146	157.5	
1280 x 960	1280 x 960_60	60	60	108	◎
	1280 x 960_85	85.002	85.938	148.5	
1360 x 768	1360 x 768_60	60.015	47.712	85.5	◎
1366 x 768	1366 x 768_60	59.790	47.712	85.000	◎
1440 x 900	WXGA+_60	60	55.469	88.75	
	WXGA+_60	59.887	55.935	106.5	◎
1400 x 1050	SXGA+_60	59.978	65.317	121.75	◎
1600 x 1200	UXGA	60	75	162	◎
1680 x 1050	1680 x 1050_60	59.883	64.674	119.000	
	1680 x 1050_60	59.954	65.29	146.25	◎
1920 x 1200	1920 x 1200_60 (Reduce Blanking)	59.950	74.038	154.000	
640 x 480@67Hz	MAC13	66.667	35	30.24	
1024 x 768@75Hz	MAC19	75.020	60.241	80	
3840 x 2160	3840 x 2160_30	30	67.5	297	

**注意事項:** \*3D 同期 PX728-4K/PX748-4K でのみ使用できます。

## HDMI (ビデオ)

ビデオモード	解像度	水平周波数 (KHz)	垂直周波数 (Hz)	ドットクロック周波数 (MHz)	3D 同期 *
					フレームシーケンシャル
480i	720(1440) x 480	15.73	59.94	27	◎
480p	720 x 480	31.47	59.94	27	◎
576i	720(1440) x 576	15.63	50	27	◎
576p	720 x 576	31.25	50	27	◎
720/50p	1280 x 720	37.5	50	74.25	◎
720/60p	1280 x 720	45	60	74.25	◎
1080/24P	1920 x 1080	27	24	74.25	
1080/50i	1920 x 1080	28.13	50	74.25	◎
1080/60i	1920 x 1080	33.75	60	74.25	◎
1080/50P	1920 x 1080	56.25	50	148.5	◎
1080/60P	1920 x 1080	67.5	60	148.5	◎
2160/24P	3840 x 2160	54	24	297	
2160/25P	3840 x 2160	56.25	25	297	
2160/30P	3840 x 2160	67.5	30	297	
2160/50P	3840 x 2160	112.5	50	594	
2160/60P	3840 x 2160	135	60	594	

**注意事項:** \*3D 同期 PX728-4K/PX748-4K でのみ使用できます。

# トラブルシューティング

## 一般的な問題

本章では、プロジェクターに関連するよくある問題について説明します。

問題	対策
プロジェクターの電源がオンにならない	<ul style="list-style-type: none"><li>電源コードが正しくプロジェクターとコンセントに接続されているか確認してください。</li><li>冷却プロセスが完了していない場合は、終了するまで待ってからもう一度プロジェクターの電源を入れてください。</li><li>上記の方法でうまくいかない場合は、別のコンセントまたは同じコンセントで別の電気機器を試してください。</li></ul>
画像が表示されない	<ul style="list-style-type: none"><li>ビデオケーブルが正しく接続され、ビデオ入力源がオンになっているか確認してください。</li><li>入力源が自動的に選択されない場合は、プロジェクターかリモコンの <b>Source</b> ボタンを使って正しい入力ソースを選択してください。</li></ul>
画像がぼやけている	<ul style="list-style-type: none"><li><b>フォーカスリング</b>を使用して投写レンズを調整し、ピントを合わせるように調整します。</li><li>プロジェクターとスクリーンを正しく設置してください。必要に応じて、プロジェクターの高さ、および投影角度と方向を調整してください。</li></ul>
リモコンが機能しない	<ul style="list-style-type: none"><li>リモコンとプロジェクターの間に障害物がなく、それらが互いの8 m (26フィート) 以内にあることを確認してください。</li><li>電池が切れている可能性があります。確認して、必要に応じて交換してください。</li></ul>

## LED インジケータ

ライト			状態と説明
			
<b>電源</b>			
緑に点滅	オフ	オフ	スタンバイモード。
緑	オフ	オフ	電源を入れています。
緑	オフ	オフ	通常動作状態です。
緑に点滅	オフ	オフ	通常の電源オフ冷却プロセスです。
赤	オフ	オフ	ダウンロード中。
緑	緑	緑	書き込みオフ。
<b>光源</b>			
緑に点滅	オフ	赤	冷却時の第一光源点灯エラー。
オフ	オフ	赤	通常動作時に光源エラー発生。
緑	オフ	赤	カラーホイールを開始できません。
<b>加熱/冷却</b>			
オフ	赤	オフ	ファン1エラー（実際のファン速度が適正速度をオーバー）。
オフ	赤	赤	ファン2エラー（実際のファン速度が適正速度をオーバー）。
オフ	赤	緑	ファン3エラー（実際のファン速度が適正速度をオーバー）。
オフ	赤	オレンジ色	ファン4エラー（実際のファン速度が適正速度をオーバー）。
赤に点滅	赤	オフ	ファン5エラー（実際のファン速度が適正速度をオーバー）。
赤に点滅	赤に点滅	オフ	ファン6エラー（実際のファン速度が適正速度をオーバー）。
赤	赤	赤	熱センサー1開エラー（リモートダイオードが開回路状態です）。
赤	赤	緑	熱センサー2開エラー（リモートダイオードが開回路状態です）。
緑	赤	赤	熱センサー1ショートエラー（リモートダイオードが開回路状態です）。
オフ	赤	緑	熱センサー2ショートエラー（リモートダイオードが開回路状態です）。
オレンジ色	赤	赤	温度1エラー（上限温度オーバー）。
オレンジ色	赤	緑	温度2エラー（上限温度オーバー）。
オフ	緑	赤	ファンIC #1 I2C 接続エラー。

# メンテナンス

## 全般的な注意

- プロジェクターの電源が切っており、コンセントから外してあることを確認してください。
- プロジェクターのパーツは絶対に取り外さないでください。プロジェクターのパーツの交換が必要な場合は、ViewSonic®カスタマーサポートセンターまたは販売店にご相談ください。
- ケースにスプレーを吹き付けたり、液体を直接かけたりしないでください。
- プロジェクターの取り扱いにはご注意ください。暗い色のプロジェクターについていた傷は、明るい色のプロジェクターよりも目立ちます。

## レンズのお手入れ

- 圧縮空気スプレーを使ってほこりを取り除いてください。
  - 汚れやしみが落ちない場合は、レンズクリーニングペーパーまたはレンズクリーナーで湿らせた柔らかい布でレンズの表面を軽く拭きます。
- 注意事項：**研磨剤でレンズをこすらないでください。

## ケースのお手入れ

- 汚れやホコリは柔らかく、毛羽立ちのない乾いた布で拭き取ってください。
  - それでも汚れが落ちない場合は、非アンモニア系、非アルコール系の研磨剤を含まない中性洗剤を清潔な毛羽立ちのない布に取り拭き取ってください。
- 注意事項：**ワックス、アルコール、ベンジン、シンナー、その他の化学洗剤は使用しないでください。

## プロジェクターの保管

長期間プロジェクターを保管する必要がある場合は、次の手順に従ってください。

- 保管場所の温度と湿度が推奨範囲内であることを確認します。
- 高さ調整用脚を完全におさめます。
- リモコンから電池を取り外します。
- プロジェクターを元の梱包または同等の梱包にしまします。

## おことわり

- ViewSonic® は、レンズやケースにアンモニア系またはアルコール系のクリーナーをご使用になることはお勧めしません。化学クリーナーによっては、レンズやケースが破損する場合がありますと報告されています。
- ViewSonic® は、アンモニア系またはアルコール系のクリーナーを使用した結果生じた故障については一切責任を負いません。

# 光源について

本ページでは、光源について説明します。

## 光源時間

プロジェクターが作動している間、プロジェクターに内蔵されたタイマーが光源の使用時間（時間単位）を自動的に計算します。

光源の使用時間の確認には：

1. **Menu** を押して OSD メニューを開き、 **詳細設定 > 光源の設定 > 光源時間情報** を選択します。
2. **Enter** を押すと、 **光源時間情報** メニューが開きます。  
こちらにて光源使用時間と最大寿命換算時間を確認することができます。
3. **Exit** を押すと、メニューが閉じます。

## 光源の寿命を延長するには

光源の寿命をできるだけ長く維持するには、OSD メニューで次の設定を行ってください。

## 光源モードを設定する

プロジェクターを **Eco**、 **Dynamic Eco**、または **SuperEco+** モードに設定すると、システムノイズと電力消費量を低減させ、光源の寿命を延長できます。

光源モード	説明
ノーマル	光源を最大輝度にします。
Eco	光源の電力消費量を最大 30% 低減し、輝度を下げて光源の寿命を延長させながら、ファンのノイズも低減させます。
Dynamic Eco	メディアコンテンツの輝度によっては、電力消費量を最大 65% 節電できます。
SuperEco+	光源の電力消費量を最大 60% 低減し、輝度を下げて光源の寿命を延長させながら、ファンのノイズも低減させます。

光源モードを設定するには、OSD メニューを開き、 **詳細設定 > 光源の設定 > 光源モード** を選択します。次に、 **◀/▶** を使ってご希望のモードを選択し、次に **Enter** を押します。

## オートパワーオフを設定する

指定した時間を経過しても入力信号が検出されないときには、自動的にプロジェクターの電源をオフにします。

OSD メニューを開き、 **電源管理 > スマートエネルギー > オートパワーオフ** を選択します。次に、 **◀/▶** を使って時間を無効または調整します。

## 光源交換タイミング

光源インジケータライトが点灯したら、新しい光源に交換するか、販売店または ViewSonic カスタマーサポートセンターにお問合せください。

**注意事項:** 古い光源を使用すると、プロジェクターの誤動作の原因となり、光源が破裂する可能性もあります。

## 光源の交換

光源を交換する場合は、一旦電源を切り、コンセントからプロジェクターを外した上で、専門のサービス担当者にお問合せください。

# > 規制およびサービス情報

## コンプライアンス情報

本セクションでは、関連するすべての要件と規制に関する声明を扱います。確認された対応用途は、本体上の銘板ラベルおよび関連マーキングを参照してください。

## FCC コンプライアンス声明

本装置は、FCC 規則パート 15 に準拠しています。操作は次の 2 つの条件に従うものとします：(1) 本装置は有害な干渉を引き起こさない場合があります。(2) 本装置は、望ましくない動作の原因となる干渉を含め、受信した干渉を受け入れなければなりません。本装置は、FCC 規則パート 15 に従って試験され、クラス B デジタル装置の制限に準拠していることが判明しています。

これらの制限は、住宅における設置で有害な干渉から適切な保護を提供するように設計されています。本装置は、無線周波エネルギーを生成、使用しており、放射する可能性があり、指示に従って設置および使用されない場合、無線通信に有害な干渉を引き起こす可能性があります。ただし、特定の設置環境で干渉が発生しないという保証はありません。本装置がラジオまたはテレビの受信に有害な干渉を引き起こした場合（装置の電源を入れ直して判断できます）、次のいずれかの方法で干渉を是正するようにしてください。

- 受信アンテナの向きまたは位置を変えてください。
- 本装置と受信機の間隔を広げてください。
- 受信機が接続されているコンセントとは別のコンセントに本装置を接続してください。
- 販売店または経験豊富なラジオ / テレビ技術者に相談してください。

本送信機で使用するアンテナは、他のアンテナや送信機と同じ場所に設置したり、一緒に使用したりしないでください。

本装置はテスト済みであり、FCC CFR Title 47 Part 15 Subpart C で指定されている測定基準と手順に準拠しています。

**警告：**コンプライアンス担当者が明示的に承認していない変更または修正を行うと、本装置の操作権限が失われる可能性があることに注意してください。

## FCC 放射線被ばく声明

この装置は、管理されていない環境に対して定められた FCC 放射線被曝制限に準拠しています。エンドユーザーは、RF 暴露コンプライアンスを満たすために、特定の操作手順に従う必要があります。

本送信機は、他のアンテナや送信機と同じ場所に設置したり、一緒に動作させたりしてはなりません。本装置は、ラジエーターと身体の間には最低 20 cm の距離を置いて設置および操作する必要があります。

意図的または意図的ではないラジエーターのユーザーマニュアルまたは取扱説明書は、コンプライアンスの責任を負う当事者によって明示的に承認されていない変更または修正を行うと、ユーザーの機器を操作する権限が無効になる可能性があることをユーザーに警告するものとします。

## IC 警告に関する声明

本装置は、カナダ産業省の免税 RSS 規格に準拠しています。操作は次の 2 つの条件に従うものとします：(1) 本装置は干渉を引き起こさない場合があります。(2) 本装置は、装置の望ましくない動作の原因となる干渉を含め、受信した干渉を受け入れなければなりません。

## 国コードに関する声明

米国 / カナダ市場で入手可能な製品の場合、チャンネル 1 から 11 のみを操作できます。他のチャンネルの選択はできません。

## IC 放射線被ばくに関する声明

本装置は、管理されていない環境に対して定められた IC RSS-102 放射線被曝制限に準拠しています。本装置は、ラジエーターと身体の間には最低 20cm の距離を置いて設置および操作する必要があります。5150 ~ 5825 MHz 帯域の装置は、屋内での使用のみを目的としており、同一チャンネルのモバイル衛星システムへの有害な干渉の可能性を低減します。

## 欧州諸国の CE 適合

**CE** 本装置は、EMC 指令 2014/30/EU および低電圧指令 2014/35/EU に準拠しています。および無線機器指令 2014/53/EU。

## 次の情報は、EU 加盟国のみ適用されます：

右側のマークは、廃電気電子機器指令 2012/19/EU (WEEE) に準拠しています。このマークは、本装置を未分類の地方自治体の廃棄物として処分せず、現地の法律に従って回収および回収システムを使用する必要があることを示しています。



## RoHS2 コンプライアンス宣言

本製品は、欧州議会および理事会指令 2011/65/EU（電気、電子機器における特定の有害物質の使用制限に関する指令（RoHS2 指令））に準拠して設計、製造されており、欧州技術適合委員会（TAC）が発行する以下の最大濃度値に適合しているとみなされます。

物質	提案された最大濃度	実際の濃度
鉛 (Pb)	0.1%	< 0.1%
水銀 (Hg)	0.1%	< 0.1%
カドミウム (Cd)	0.01%	< 0.01%
26/5000 六価クロム (Cr6+)	0.1%	< 0.1%
ポリ臭化ビフェニル (PBB)	0.1%	< 0.1%
ポリ臭化ジフェニルエーテル (PBDE)	0.1%	< 0.1%
フタル酸ビス(2-エチルヘキシル) (DEHP)	0.1%	< 0.1%
Benzyl butyl phthalate (BBP)	0.1%	< 0.1%
フタル酸ジブチル (DBP)	0.1%	< 0.1%
フタル酸ジイソブチル (DIBP)	0.1%	< 0.1%

上記のような製品の特定のコンポーネントは、下記の RoHS2 指令の附属書 III の下で免除されています。免除されているコンポーネントの例を以下に挙げます。

- 以下を超えない特殊用途用冷陰極蛍光灯および外部電極蛍光灯 (CCFL および EEFL) の水銀 (ランプあたり)。
  - » 短いランプ (500mm) : ランプあたり最大 3.5 mg。
  - » 中程度のランプ (500 mm ~ 1,500 mm) : ランプあたり最大 5 mg。
  - » 長いランプ (1,500 mm 以上) : ランプあたり最大 13 mg。
- 陰極線管のガラス中の鉛。
- 重量 0.2 % を超えない蛍光灯のガラス中の鉛。
- 重量 0.4 % までの鉛を含むアルミニウムの合金元素としての鉛。
- 鉛を重量 4 % まで含有する銅合金。
- 高融点温度はんだ中の鉛 (すなわち鉛を重量 85 % 以上含む鉛ベースの合金)。
- コンデンサに誘電体セラミック以外のガラスまたはセラミックの鉛を含む電気および電子部品 (例えば、圧電素子、またはガラスまたはセラミックマトリックス化合物中)。

- 電池：

- » 電池が使用、保管、または輸送中にさらされる可能性のある極端な高温または低温。高高度では気圧が低くなります。
- » 安全装置を無効にする可能性のある不適切なタイプの電池交換（たとえば、一部のリチウム電池タイプの場合）。
- » 電池を火または高温のオーブンに廃棄するか、電池を機械的に押しつぶして破裂させると爆発する恐れがあります。
- » 非常に高温の周囲環境に電池を放置すると、爆発または引火性の液体またはガスの漏れを引き起こす可能性があります。
- » 電池を極端に低い気圧に曝すと、爆発したり、可燃性の液体またはガスが漏れたりする可能性があります。

## 著作権情報

Copyright© ViewSonic Corporation, 2021. All rights reserved. 版權所有。

Macintosh 及び Power Macintosh はアップル社 Apple Inc. の登録商標です。

Microsoft、Windows 及び Windows ロゴは米国及び他諸国のマイクロソフト社の登録商標です。

ViewSonic 及び 3 羽の鳥のロゴは ViewSonic 社の登録商標です。

VESA は Video Electronics Standards Association の登録商標です。DPMS、DisplayPort 及び DDC は VESA の商標です。

ENERGY STAR® は米国環境保護庁（EPA）の登録商標です。

ENERGY STAR® パートナーとして、ViewSonic® Corporation は本製品がエネルギー効率のための ENERGY STAR® ガイドラインに準拠することを決定しています。

**免責条項：**ViewSonic® Corporation は、本書における技術的または編集上の誤りについてその責を負いません。また、本資料の提供または本製品の動作或いは使用に起因する二次的または間接的損害についてもその責を負いません。

製品の継続的な品質向上のために、ViewSonic® Corporation は製品の仕様を予告なしに変更することができます。本文書の内容は予告なしに変更されることがあります。

本書のいかなる部分も、ViewSonic® Corporation から事前に書面による許可を得ることなく、いかなる方法によっても無断で複写、複製、転送することを禁じます。

## カスタマーサポート

技術サポート、製品サービス、保証範囲については、  
下記ウェブサイトをご覧ください。

<https://www.viewsonic.com/jp/support/>

製品サポート、修理、その他お問い合わせについては、  
下記ウェブサイトの問い合わせフォームよりお送りください。

<https://www.viewsonic.com/jp/contact/>

**注意事項：**製品のシリアル番号が必要です。



**ViewSonic®**  
*See the difference®*